	ミコード・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	22300	農村公園維持管理費	予算科目	会計 一般	款 6	項 1	2	掲	☑ 総合戦略 □ 国土強靱化地域計画
3107	万千石			所管課		農水産		載計	□ 新市建設計画	
+	基本施策	19	公園の充実	業基盤整	E備班		圖画	□ 定住自立圏共生ビジョン		
施策体系		38	公園の維持管理	開始年度	不詳			等		
14111	戦略事業名	179	公園維持管理	根拠法令	旭市農村公園条例					□ R4主要事業

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

市内6箇所の農村公園(東足洗農村公園、西足洗農村広場、松沢農村公園、清滝ため池公園、谷町場まる池広場、アメニティ公園)の清掃や施設の補修等の維持管理業務を行う。

※鏑木農村公園、アグリポケットパークについては廃止済

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

一部の公園は、土地改良事業等の一環で市による管理を前提として建設された。その他についても公共財として適切な維持管理を行うため。

(地元管理)維持管理に携わる人員の減少により、一部への負担が増加。 特になし

 ④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

 事業活動
 提供する モノやサービス
 成果
 施策の展開
 基本施策
 基本目標

 公園の維持管理を区長や業者に委託する
 動地内の修繕や草刈 やすくなる
 → 近隣の公園利用者が利用しやすくなる
 → 公園の維持管 中公園の充実
 → 公園の充実
 → 流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2)活動と成果の状況 ① R4の主な活動や実績

① R4の主な活動や美績
○東足洗農村公園、西足洗農村公園、松沢農村公園、松沢農村公園、西見洗農村公園、松沢農村公園、松沢農村公園、松沢農村公園、松沢農村公園、

・維持管理を実施 業務委託先→各区長

○アメニティ公園

・維持管理を実施

業務委託先→旭植木造園有限会社

・遊具等撤去工事を実施

業者→旭植木造園有限会社

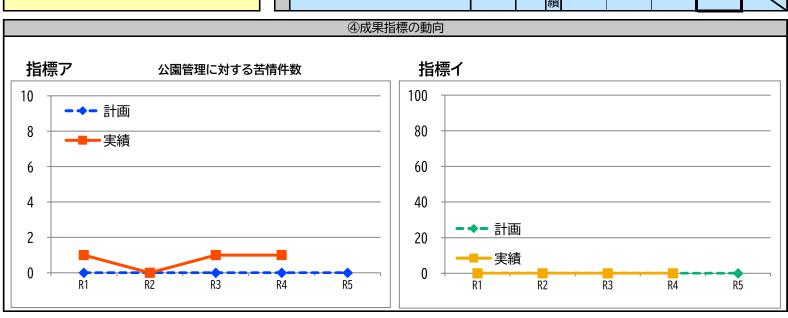
○谷町場まる池広場

・草刈りを実施

業務委託先→シルバー人材センター

→ [2	活動指標	単位		R1	R2	R3	R4	R5
	님	維持管理している公園等の数	箇所	計画	8	8	7	6	6
	,	神は自注のでいる公園寺の数		実績	8	8	7	6	
		補修工事件数		計画	1	0	0	1	1
イ	州修工事什 奴	件	実績	2	3	1	1		





(3)コストの状況 <u>(</u>単位:千円) ①事務事業費 R1決算 R2決算 R3決算 R4決算 R5予算 1. 公園維持管理委託料 1,649 1,878 1,662 1,849 1,523 2. 維持補修費 153 207 160 100 300

 費
 3. 土地等借上料

 4. 光熱水費

 249 249 150 249 150 73 79 85 91 99 内 5. その他 訳 1,401 114 155 2,059 325 3,754 2, 298 2,311 3,923 2,723 合計 国·県支出金 地方債 0 0 その他 0 0 0 般財源 3, 754 2, 298 2,311 3, 923 2,723 100.0% 1<u>00.0%</u> 一般財源の比率 100.0% 100.0% 100.0%

	2	従事職員	数		
1	人				
2	Д×	1 =	= 延べ	2	人
	1 2	1 \	1 4	② 従事職員数 1 人 2 人× 1 日 = 延べ	1 \

3	多各費目の詳細(R4決算)
1.公園維持管理委託料	公園維持管理業務委託ほか
2.維持補修費	公園維持補修
3.土地等借上料	東総用水事業調整池用借上料ほか
4.光熱水費	せせらぎ水路井戸ポンプ電気料ほか
5.その他	除草剤等購入ほか
4	特定財源の詳細(R4決算)
国·県支出金	
地方債	
その他	

⑤ R3→R4 増減理由
3. 土地等借上料の減額について
・鏑木農村公園を廃止したため。
5. その他の増額について
・鏑木農村公園撤去工事のため。

(4)事務事業に関する評価 分析(好不調の要因や対策について) 例年通り維持管理を依頼することができたため。 鏑木農村公園の撤去工事を実施することができたため。 ① 事務事業の進捗 概ね順調 判定 分析(変動の要因や対策について) 区長より、東足洗農村公園の外灯故障についての苦情があり、前年度と同数値のため。 災害対応等で現場確認を行い、修繕箇所の早期発見に努めたい。 指標ア 伸び悩み ② 成果指標の推移 (R3→R4) 判定 分析(変動の要因や対策について) 指標イ 方針 判定 判定・方針の詳細 旭市民に健康増進及び憩いの場を提供し、地域連帯感の醸成及び豊かな人間性を培うとと もに青少年児童の健全な育成を図るため、農村環境整備の一環として維持管理の継続実 ③ 今後の方向性 施が必要と判断する。 (①・②を踏まえた 継続実施 R5以降の方針)

車型	ミコード・			予算科目	会計	款	項	目	4	☑ 総合戦略
	いる。	22400①	(上)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)		一般	6	1	_	掲	
7137) J. K. L.			所管課		農水産		載計	☑ 新市建設計画	
+	基本施策	1							圖画	☑ 定住自立圏共生ビジョン
施策体系		1	農畜産物の生産振興	開始年度	平成17年度				等	□ 過疎地域持続的発展計画
PTVIN	戦略事業名	6	産業まつり	根拠法令	旭市補助金等交付規則					□ R4主要事業

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

農水産物・商工業製品の展示即売、活動PR等をメインにステージイベント等を行う。

実施団体:旭市産業まつり実行委員会 実施時期:11月 時間:午前10時~午後2時

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

合併前の各市町村(3市町)においてそれぞれの地域の産業の振興と、地域住民の相互のふれあいを成就するため。旧旭は農協中心の祭りに昭和59年に市が加わった。旧海上は昭和62年から。旧干潟は昭和62年から。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

平成25年度は会場の都合もあり旭・干潟は合同、海上は単独で開催した。また、平成28年度より一本化を図り、海上会場のみでの開催となった。 3つのまつりを一本化するに当たり海上会場での開催要望があった中、平成28年度より一本化し海上会場で実施している。

令和2年度からは会場を旭文化の杜公園に変更し開催する予定であったが、以降は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっている。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

提供する 事業活動 成果 基本施策 基本目標 施策の展開 モノやサービス 農水産物·商工業製品 魅力ある雇用 の展示即売、活動PR 等をメインにステージ まつりに参加する。 市民及び近隣住民が市内産 農畜産物の生 → 農水産業の振 → 産振興 を創出し、安 業の担い手と交流を図り、 地域産業のポテンシャルを 心して働ける イベント等を行う祭り 再発見する。 まちづくり を開催する。

(2)活動と成果の状況 ① R4の主な活動や実績

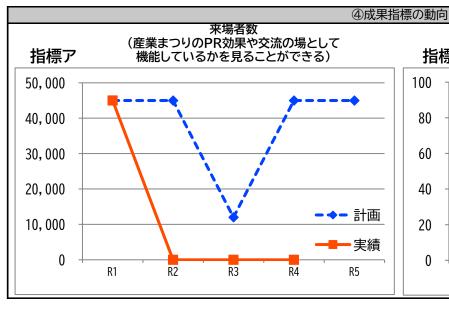
実行委員会で祭りの詳細を決定し、出展者、出演者の募集、各種調整を行う。 6/22 実務担当者会議開催

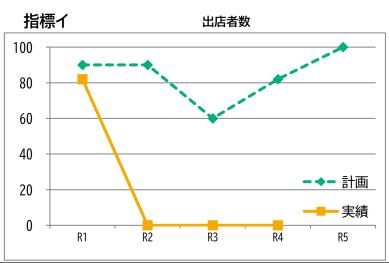
7/1 第1回実行委員会開催 8/2 実務担当者会議開催 8/10 第2回実行委員会開催

→新型コロナウイルス感染症の影響により中止

→ [2	活動指標	単位		R1	R2	R3	R4	R5
	디	開催回数		計画	1	1	1	1	1
)*	州唯四奴		実績	1	0	0	0	
	1	シャトルバス運行本数	/击	計画	95	95	90	90	60
			便	実績	90	0	0	0	

③ 成果指標 単位 方向性 R1 R2 R3 R4 R5 来場者数 45,000 45,000 12,000 45,000 45,000 (産業まつりのPR効果や交流の 場として機能しているかを見る 45,000 0 ことができる) 増やす 90 90 60 82 100 出店者数 団体 実績 82 0 増やす





)コストの状況						单位:千円)	
	事務事業費		R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	② 従事職員数
	1. 旭市産業まつり補	助金	6, 183		0		7,800	
l ⊦			0		0			常時 11 人
費目内訳			0		0			
				0	0			
訳								最大 <mark> </mark>
lŀ								
▎┟			6, 183	0	0	0	7,800	
H	国・県支出		0, 100		0	·	1,000	
財	地方債		C		0			
源	その他		6, 183		0	0	7,800	
財源内訳	一般財源	Į	C	U	0	0	0	
	一般財源の日	七率	0.0%				0.0%	
			③ 各費目の	詳細(R4決算)			⑤ R3→R4 増減理由
1.加	日市産業まつり補助会	金		バス等借上料		おけい 印刷	費等	
10,0		<u></u>	7,533,5,110	× 4 1H ===1	Т ШИС	1 1433 1 12 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	~ ,	
	3 12 2 11 2	(④ 特定財源の)詳細(R4決算	〔			
旦	・県支出金							
	地方債		√ □ 7 ∧					
	その他 <mark>地域</mark>	辰興基金	裸 人金					
(4)事務事業に関す	る評価						
		判定						因や対策について)
			実行委	員会等で開催	を模索した	:が、感染拡力	に防止の観点	点から中止となった。
		(- }					
1	事務事業の進捗		7					
)						
		停港	#					
		17/1		_				
			判定				分析(変動の	の要因や対策について)
			43	産業まつりか	で中止となっ	ったため。		
		指標ア						

			伸び悩み					
2	成果指標の推移							
	(R3→R4)		判定				分析(変動の	の要因や対策について)
			25	産業まつりか	・中止となっ	ったため。		
		指標イ	1					
			4					
			伸び悩み					
			1甲071凶の					
		判定		方針				判定・方針の詳細
					新型コロ	1ナウイルス原	染症の影響	響で休止していたまつりを復活し、地域産業の振興に寄与
(3	う後の方向性				する新た	とな実施体制	を確立する。	0
(()・②を踏まえた	n +		7.00				
	(5以降の方針)	見直	.0	その他				

	ミコード・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	22400②	4002 (1重業)	予算科目	会計 一般	一般 6 1 3			掲	
3-02) J. K. L.		り争未り	所管課 農水産課						☑ 新市建設計画
+1-1-1-1-1-1	基本施策	16	交流の促進	担当班		振興班	£		副画	☑ 定住自立圏共生ビジョン
施策体系		32	交流事業の促進	開始年度	平成18年度				等	☑ 過疎地域持続的発展計画
PTVIN	戦略事業名	147	幽学の里で米作り交流事業	根拠法令	旭市補助金等交付規則					□ R4主要事業

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

・国指定重要文化財である大原幽学ゆかりの水田(幽学の里)での米づくりを中心に都市住民との交流を図る。また、市の観光資源、豊富な農水産物をより多く知ってもらうことで、旭市の認知度を上げるとともに、市のイメージアップを図る。また、継続的な来訪及び市の産品の売り上げ向上による経済効果を

- ・地元生産者が都市部の消費者と交流を図ることで、消費者の求めるニーズの把握、新たな顧客の確保につなげる。 ・事業実施団体は「旭市都市農漁村交流協議会」で、市内の生産者や食育関係などの会員で構成し、会員数は30人程度。

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

遊休農地となっていた大原幽学ゆかりの水田(国指定重要文化財)を活 用し、都市部住民との交流を通して、旭市の農水産業・歴史・観光等の発 信を行う。

事業開始から17年目を向かえ、熟成段階に入っている。単なる米作り交流に留 まらず、幽学の歴史や観光の発信、食の安全・食育に関するテーマのイベントを 平行して実施しているが、震災の影響や安全面への配慮、参加団体において団 体統合するなどにより、参加団体数が減少しており、体験圃場の約半分が余剰 となってきている。協議会会員の高齢化も問題となってきているため、新たな事 業展開を模索しながら、新規会員(若手)の加入促進の必要がある。事業対象 者からは「会員の増員(若い生産者等)」や「イベント内容の充実」を求める声とと もに「参加者を飽きさせない新しい取り組み、開発が必要な時期」との意見が出

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

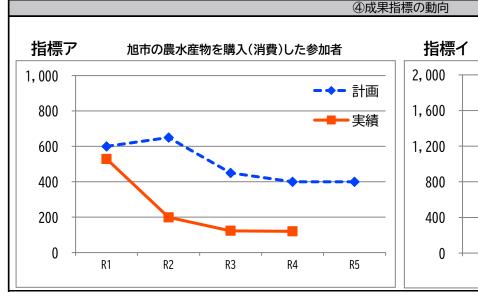
提供する 基本施策 基本目標 事業活動 成果 施策の展開 モノやサービス ひとの定着・ 参加者(都市部の市外 還流・移住の 「幽学の里で米づくり 参加者が旭の農水産物や食 交流事業の促 住民、市民)が田植え →交流の促進 住民、市民)か田植え → から稲の収穫までの → つつが担市に対する関心を持 → 進 交流事業」を開催す 流れをつく \Rightarrow る。 り、人々が集 米づくりを体験する。 うまちづくり

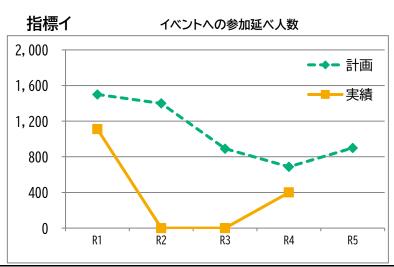
(2)活動と成果の状況

① R4の主な活動や実績

- 【「幽学の里で米づくり交流事業」を開催する】
- 5月1日(日)に田植え体験を実施
- (参加者27組105名)
- 7月2日(土)に草取り・生きもの調査を実施 (参加者25組88名)
- 季楽里あさひでのPRイベントの実施
- ・役員会議等の実施







	3)コストの状況							単位:千円)	
1	事務事業費			R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	② 従事職員数
	1. 幽学の里で米作り交流	流事業補助	金	1,025	324	431	302	880	
				0	0	0			
費				0	0	0			
費目内訳				0	0	0			
									最大 10 人× 8 日 = 延べ 80 人
D/\ -									
	Λ=1			1 005	204	491	202	000	
Н	合計			1,025		431	302	880	
財	国・県支出	並		0	0	0			
財源内訳	<u>地方債</u> その他			1,025	324	431	302	880	
内		<u> </u>		1,025	324	431	0	000	
訳	一般財源のよ			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	川文共小小示して	<u> </u>		U. U/0	U. U/0	U. U/0]	U. U/0	U. U/0	
					詳細(R4決算				⑤ R3→R4 増減理由
1.图	凶学の里で米作り交流	事業補助	金 幽	学の里で	米づくり交	流事業補助	J金		微減
		,	金属	かまで	詳細(R4決算	与 \			
F	国·県支出金		4) 村人	上的源切	計神(K4次)	早 <i>丿</i>			
Ŀ	地方債								
	** **	長興基金	細えな	<u>></u>					
	C 03 10 10 10 10 10 10 10	从兴生业	が大ノく立	<u> </u>					
(4	1)事務事業に関す						ハエー	おて書の書	
		判定		目目もムよいご	17年日松油	さ 幺tm土			と因や対策について) 米作り交流に留まらず、幽学の歴史や観光の発信、食の安
					に関するテー				
		(,)	協議会会	会員の高齢化	が問題とな	ってきており	、今後は新	たな事業展開を模索しながら、新規若手会員の加入促進の
(1)	事務事業の進捗			必要があ	5る。				
		概ね』	頁調						
								ハ - ビ / ホ ・チェ /	7. T. D. L. C. L.
			#	判定		フノルフ 成分			D要因や対策について) 3年度はイベントがすべて中止となってしまったが、令和4年
			Z						毎度はイベントがすべて中止となってしまったが、令和4年 験や生き物調査体験を開催し、また、道の駅でPRイベント
			(を実施するこ			- Y 11111区/C PTV	一般 (上で)
		指標ア	4	B	イベント時に	は、旭市産	の野菜や加工	工品の直売	を行い、参加者の半数が購入した。
				**					
			好訓	副維持					
2	成果指標の推移								
	(R3→R4)		*	判定					の要因や対策について)
			A	3					3年度はイベントがすべて中止となってしまったが、令和4年
				~ \$\frac{1}{2}	度は感染拡充を実施する。			ご、田旭ん体	験や生き物調査体験を開催し、また、道の駅でPRイベント
		指標イ		199				直え体験及で	び生き物調査では延べ200人程が参加、PRイベントでは米
			*	M	粉ドーナツと	チラシ等を	配布し、約2	00人が来場	易した。
			r=	〕上					
			IL	-j					
		判定			方針				判定・方針の詳細
									通して、都市部住民へ旭市の農業・歴史・観光等について
(3	③ 今後の方向性					PK出米	るよう、イベン	ノト内谷を上	-大り句。
((①・②を踏まえた	日本			ス の畑				
F	R5以降の方針)	見直	U		その他				

				_						
== **	← ¬			予算科目	会計	款	項	目		☑ 総合戦略 重点 1
	ロード・	22500	新規就農総合支援事業	J. 21. 11.11	一般	6	1	3 握		□ 国土強靱化地域計画
3-17	7 开 不 口					農水産		載計	☑ 新市建設計画	
+/- ^/-	基本施策	1	農水産業の振興	担当班		振興班	E		副画	□ 定住自立圏共生ビジョン
施策体系		2	安定した農業経営の推進	開始年度	平成24年度			等	☑ 過疎地域持続的発展計画	
PTVIN	戦略事業名	10	新規就農総合支援事業	根拠法令	↑ 新規就農·経営継承総合支援事業実施要綱等					☑ R4主要事業

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

- 1.羽ばたくルーキー農業者激励会:新たに農業を開始した青年(50歳未満)に対して、JA、農業事務所と共催して激励会を行い、補助制度等の説明を行
- 2.農業次世代人材投資資金:独立、自営就農して間もない農業者(原則として50歳未満)の就農後の定着を図ることを目的として資金の交付を行う。 【交付金額】年間 1農業者当たり最大150万円(夫婦の場合は最大225万円) ※平成27年度申請者から前年度所得に応じて変動あり 【交付期間】独立就農日から最大5年目まで交付。
- 3.旭市農林水産業後継者育成事業補助金:青年農業者(40歳未満)の育成を目的とした公的機関が主催する研修等の補助金の交付を行う。 【補助金額】講演会開催 最大10万円、研修参加 最大25万円(かかった費用の2分の1) 4.新規転入農業者支援事業補助金:市内で就農する意志を持って転入した青年等に対して、補助金の交付を行う。

【補助金額】農業用機械・施設等の取得 最大50万円(かかった費用の2分の1以内)、農地の賃借 最大20万円(農地10aあたり20,000円/年以内)

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

【激励会】新規就農者に対し関係機関が一体となって支援するため始まっ た。【農業次世代人材投資資金】農業後継者不足が深刻な問題となってい る中、青年の就農意欲の喚起、就農後の定着及び就農者の増加を目的と して国の制度として開始。【後継者育成事業】商工観光課と農水産課で実 施していた補助事業を整理・統合。【新規転入農業者支援事業】 新たな農 業の担い手を確保し、地域農業の振興を図るため、市単独事業として開 始。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

・平成25年度より青年就農給付金(現農業次世代人材投資資金)の交付要件 に認定新規就農者であることが加わり、その計画の審査等を市で行うように

・受給者から資金が経営の安定に役立てられているとの声がある。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか) 提供する 事業活動 基本施策 基本目標 成果 施策の展開 モノやサービス 就農を希望する者 魅力ある雇用 に、就農相談を実施したり、就農を支援する A 新規就農者数が増加する 農水産業の振 新規就農者激励会を 安定した農業 経営の推進 を創出し、安 開催し、各種補助金を 興 心して働ける 周知、募集する 各種補助金を交付す まちづくり

(2)活動と成果の状況 ① R4の主な活動や実績

・新規就農者激励会の開催 新規就農者と市長との懇談会を実施し、市長から の激励の言葉と記念品を贈呈する

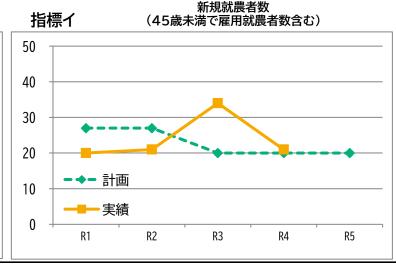
・各種補助金の交付

国庫補助金である経営発展支援事業、経営開始 資金、市の補助金である親元就農チャレンジ支援 金、転入者農業チャレンジ支援金、新規就農者支 援事業補助金を交付する。

7	(2)	活動指標	単位		R1	R2	R3	R4	R5
	ア	.羽ばたくルーキー農業者激励会参加者数	J	計画	8	18	20	20	20
	,	. 別はたくルーヤー展来自成伽云参加自致		実績	5	7	0	13	
	7	青年就農給付金の給付件数	件	計画	10(4)	7(4)	7(4)	8(4)	8(4)
1	(うち当該年度新規件数)		実績	6(0)	3(1)	4(1)	6(3)		
	П						-		

•				_	_				
3	成果指標	方向性	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ア	50歳未満新規就農者数 (羽ばたくルーキー農業者激励会	1	,	計画	18	18	20	20	20
	対象者数)	増やす		実績	11	17	9	17	
1	新規就農者数 (45歳未満で雇用就農者数含 む)	1	,	計画	27	27	20	20	20
1		増やす	人	実績	20	21	34	21	

④成果指標の動向 50歳未満新規就農者数 指標ア (羽ばたくルーキー農業者激励会対象者数) 30 24 18 12 - 🔷 = 計画 6 実績 0



(3)コストの状況 <u>(</u>単位:千円) R1決算 ① 事務事業費 R2決算 R3決算 R4決算 R5予算 1. 報償金 66 155 30 80 費 3. 新規就農総合支援事業補助金 4. 農林水産業後継半本本土 9 6,750 4, 435 4, 435 11,601 36,750 0 5,766 5. その他 146 900 2,200 12,540 6,971 5, 496 6,665 17, 437 49,390 合計 国·県支出金 6,750 4,435 4, 435 11,601 地方債 0 2,000 900 6,000 その他 0 3,600 般財源 221 161 230 2, 236 6,640 一般財源の比率 3.5% 12.8% 13.4% 3.2% 2.9%

② 従誓	事職員数
常時 2 人	
最大人×	日=延べ人

	3) 各費目の詳細(R4決算)
1.報償金		激励会記念品代
2.食料費		激励会茶菓子代
3.新規就農総合	支援事業補助金	農業次世代人材投資事業補助金
4.農林水産業後継	者育成事業補助金	
5.その他		親元就農チャレンジ支援金
	4	特定財源の詳細(R4決算)
国·県支出金	農業次世代人材	投資事業補助金
地方債		
その他	ふるさと応援基金	金繰入金

⑤ R3→R4 増減理由
3.新規就農総合支援事業補助金については、国の補助内容が変わり、機械の導入を支援する制度が新設されたため、事業費が増加した。
5.その他については、親元就農チャレンジ支援金の累計支給申請者が増えたため、事業費が増加した。

(4)事務事業に関する評価 分析(好不調の要因や対策について) 判定 補助金を活用して新規就農した者が3名おり増加傾向であることから、事業効果があった。 ① 事務事業の進捗 順調 判定 分析(変動の要因や対策について) 成果指標アに占める親元就農チャレンジ支援金支給対象者数が増加していることから、事業活動の効果が あった **(B)** 指標ア 向上 ② 成果指標の推移 (R3→R4) 分析(変動の要因や対策について) 判定 成果指標イについて、毎年度20人前後の新規就農者が存在することから、事業活動の効果があった 指標イ 好調維持 判定 方針 判定・方針の詳細 事業活動が新規就農者数の維持に一定の効果を発揮しているため、今後も継続して実施す ③ 今後の方向性 (①・②を踏まえた 継続実施 R5以降の方針)

					1		_	_		
== **	事業コード・ 事務事業名			予算科目	会計	款	項	目		☑ 総合戦略
		22600	1530000 TEL 13 3 1104H 3-710	J'#M'I	一般	6	1	1 3 3		□ 国土強靱化地域計画
			所管課	農水産課					□ 新市建設計画	
+	基本施策	1	農水産業の振興	担当班		振興班	Ē		計画	□ 定住自立圏共生ビジョン
施策		2	安定した農業経営の推進	開始年度		平成17年	度			☑ 過疎地域持続的発展計画
PTVIN	体系戦略事業名	11	制度資金利子補給事業	根拠法令	旭市農業近何	代化資金	利子補給	条例等		□ R4主要事業

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

・農業者の施設等の整備や農業経営の近代化を推進する目的で、JA等の融資機関が行う農業近代化資金の融資に対して利子補給を行う。また、効率的・安定的な経営体を育成する目的で、日本政策金融公庫が認定農業者等へ融資する農業経営基盤強化資金に対して利子補給を行う。 1.農業近代化資金利子補給の率0.5%

2.農業経営基盤強化資金利子補給の率(平成24年度から制度上無利子化。それ以前は借入年度による。)

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

農業近代化資金利子補給(昭和36年頃) 農業経営基盤強化資金利子補給(平成7年頃) ※1市3町合併後は平成17年7月1日付けで制定。 令和元年度台風被害発生や新型コロナウイルスの影響による行動制限など

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

提供する 事業活動 成果 施策の展開 基本施策 基本目標 モノやサービス JA等の融資機関が融 資する農業近代化資 魅力ある雇用 金や日本政策金融公 農水産業の振→ 農業制度資金利子補 制度資金を借り受けている 安定した農業 経営の推進 を創出し、安 → 農業者の生産設備の高度 給事業の周知を図 ➡ 庫が融資する農業経 \Rightarrow 興 心して働ける 営基盤強化資金に対 化・近代化が進む。 まちづくり して、利子補給金を交 付する。

(2)活動と成果の状況

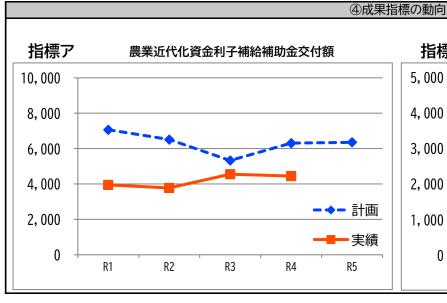
① R4の主な活動や実績 各種利子補給金の交付

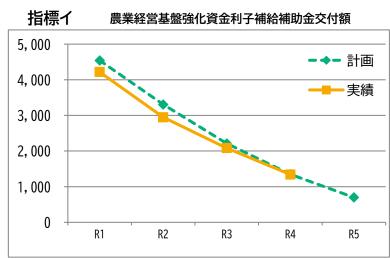
・近代化資金に対して、利子補給金を交付。

・農業経営基盤強化資金に対して、利子補給金を交付。

72) 活動指標	単位		R1	R2	R3	R4	R5
1	農業経営の近代化	件	計画	242	248	244	314	335
			実績	204	231	265	306	
	効率的・安定的な経営体の育成	件	計画	112	74	61	42	31
1	別学的・女に的な経呂体の自成	11	実績	96	73	60	44	
J								

~	•								
3	成果指標	方向性	単位		R1	R2	R3	R4	R5
マ	農業近代化資金利子補給補助金	1		里垾	7,067	6,509	5,328	6,313	6,357
,	交付額	増やす	113	実績	3,946	3,778	4,555	4, 448	
1	農業経営基盤強化資金利子補給	1		匣哻	4, 543	3,306	2,213	1,349	699
	補助金交付額	増やす	113	実績	4, 217	2, 946	2,083	1,342	





	3)コストの状況						<u> 单位:千円)</u>	
1	事務事業費		R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	② 従事職員数
	1. 農業近代化資金利用		-,	3,778	4,555		6,357	
	2. 農業経営基盤強化資金和	引子補給補助金	4,217	2,946	2,083	1,342	699	常時 2 人
費目内訳			0	0	0			
間			0	0	0			
訳								最大 人 × 日 = 延べ 人
L/ \								
	合計		8, 163	6,724	6,638	5,790	7,056	
	国・県支出	<u></u>	2, 108		1,041	670	349	
財		<u> </u>	2,100	0	1,041	070	343	
財源内訳	その他		0	0	0			
内	一般財源	i	6,055	5, 252	5,597	5,120	6,707	
汃	一般財源のよ		74.2%		84.3%		95.1%	
ш		<u>√</u>	17.6/0	70. 1/0	UT: 3/0	OO: 4/0	73. 170	
			3 各費目の記					⑤ R3→R4 増減理由
_	農業近代化資金利子			資金利子補				平成24年度から農業経営基盤強化資金が国の無利子
2.	農業経営基盤強化資金利一	子補給補助金	農業経営基	盤強化資金	利子補給補	助金		化措置により利子補給対象者数が減少しているた
								め。
			特定財源の					
		県農業経営	基盤強化資金	金利子補給事	掌業補助金			
	地方債							
	その他							
(2	4)事務事業に関す	る評価						
È	17 - 122 - 121 - 121 - 121	判定				分析(好不調の要	因や対策について)
			令和元年	Fの台風被害	や新型コロ	ナウイルスの	影響等によ	り、農業近代化資金利子補給金の交付件数は増加してい
		(化資金利子	補給補助金	交付額は、横ばいとなっている。1件の資金借入額が減少し
1) 事務事業の進捗		ているの	が要因と考え	えられる。			
U	ク 争術争未り延抄 							
		概ね順	調					
			With				ハ <u> </u>	D. T. C. L.
			判定	会和二年の	ム国地生と			り要因や対策について) 響等により、農業近代化資金利子補給金の交付件数は増
			433					警等により、晨業近代化貧金利子補給金の父何件数は増 会利子補給補助金交付額は、伸び悩みとなっている。1件の
			CZZ M	資金借入額	が減少して	いるのが要因	と考えられ	を利す価格価的並文的領は、何0個のとなりといる。1年の る。交付件数が増加していることから、周知は一定数され
		指標ア	4	ていると考え				2002 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
		_	77					
		+	好調維持					
2	成果指標の推移	,	(丁间)和丁寸					
	(R3→R4)		判定				分析(変動の	D要因や対策について)
			24			可子化措置倉	一設により、禾	刊子補給対象件数が減少し、利子補給金交付額も減少して
				いる。申請作	‡数は横ばい	ハで成果指標	には反映さ	れないが、安定した農業経営の推進に寄与している。
		指標イ						
		1日1水 1	MIS					
			低下					
		1/11		+-				利点 十代の芸術
		判定		方針	出来	亜 ノ に へ い へ !	司の無利フ	判定・方針の詳細
					以未指的 一定数3	まれに りい ()	国の無利士	化処置により、補給対象件数が減少しているが申請件数は 融資を希望する農業者に対して、本事業の周知を図る。
	③ 今後の方向性				مريد م		1/1 - 01/	
	①・②を踏まえた	継続実	施					
	R5以降の方針)		שט					

				_						
= **	- I»			予算科目	会計	款	項	目		☑ 総合戦略
	事業コード・事務事業名	22800	水田農業構造改革推進事業), 11 1111	一般	6	1	3	掲	
					農水産		載	□ 新市建設計画		
+	基本施策	1	農水産業の振興	担当班		振興班	E		画	□ 定住自立圏共生ビジョン
│他朿 │体系	施策	1	農畜産物の生産振興	開始年度		不詳				☑ 過疎地域持続的発展計画
14.71	戦略事業名	2	水田農業構造改革推進事業	根拠法令	旭市社	甫助金等:	交付規則			☑ R4主要事業

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

米の一人当たりの年間消費量は、ピークであった昭和37年度(118kg)の半分程度に減少しており、米価の維持、食料自給率の維持向上や稲作経営の安 定化のために、国の施策として主食用米の作付けの転換が進められている

国、県及び市が、飼料用米、ホールクロップサイレージ(WCS)などの家畜飼料などを水田に作付けした農家に対して助成することで、主食用米からの転 換を促進する。

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

国が進める作付け転換を推進するために、飼料用米等の転作作物に対 し助成する。

米価については、歯止めの効かない人口減少や食生活の変化などにより、コ ロナ禍前の水準に回復するのは困難な状況にあるが、国は方針を変更し、食用 として需要のある麦・大豆への転作と水田の畑地化を推進する一方で、飼料用 米については補助金の減額を始めている。

旭市は低湿地帯で、水田での麦・大豆の生産には向いていないため、補助金 減額の影響が少ない、飼料用米多収品種での作付け推進を継続していく必要 がある。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

提供する 事業活動 成果 基本施策 基本目標 施策の展開 モノやサービス 水田農業の構造改革 魅力ある雇用 作付転換の推進・継続 を図り、地域の実情に 農業経営が安定化し、水田 農水産業の振 を創出し、安 農畜産物の生 のために、転換を行っ た農家に補助金を交の多面的機能が維持され 即した効率的・安定的 ⇒ 興 心して働ける 産振興 な水田農業のための 付する。 まちづくり 支援を行う。

(2)活動と成果の状況

① R4の主な活動や実績 水田農業の構造改革を図り、地域の実情に即した 効率的・安定的な水田農業のための支援を行っ ①パンフレットの作成・配布

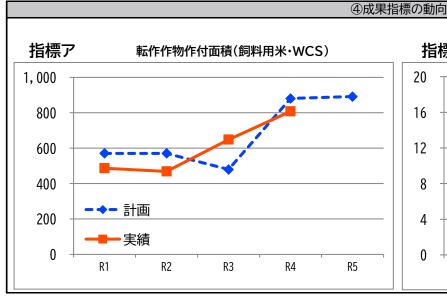
②経営所得安定対策関係書類の作成

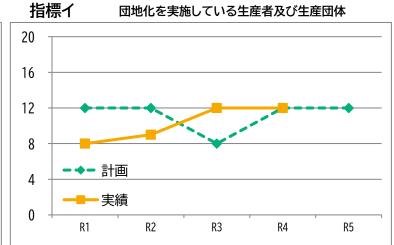
3補助金の交付

④飼料用米等流通加速化事業補助金を活用した 効率的な飼料用米の出荷体制の整備

→[2	活動指標	単位		R1	R2	R3	R4	R5
-	ט	補助金対象者数	件	計画	210	210	200	255	230
	,	州功並刈家有奴		実績	201	167	222	228	
	1			計画					
	1			実績					
- 7	ī								

_									
3	成果指標	方向性	単位		R1	R2	R3	R4	R5
マ	転作作物作付面積(飼料用米·W	1		計画	571	571	480	881	892
`	CS)	増やす	ha	実績	487	469	649	808	
1	団地化を実施している生産者及	1	件	計画	12	12	8	12	12
1	び生産団体	増やす		実績	8	9	12	12	





(3)コストの状況			_	<u>(È</u>	单位:千円)	
① 事務事業費	R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	② 従事職員数
1. 負担金補助及び交付金	81,717	84,627	129, 251	145, 279	167, 171	
	0	0	0	·	·	Wat 0 1
弗	0	0	0			常時 <mark>3</mark> 人
費 目 内 訳	0	0	0			
内	U	U	U			
						最大 人× 日 = 延べ 人
合計	81,717	84,627	129, 251	145, 279	167, 171	
国·県支出金	18, 211	18, 512	37,647	34,067	40,773	
財力力	0	0	0	14,600	13, 100	
財 地方債 源 その他 内 一般財源	0	0	0	0	20, 200	
	63,506	66, 115	91,604	96,612	113, 298	
一般財源の比率	77.7%		70.9%		67.8%	
	//. //0	70.1/0	10.9/0	00.3/0	07.0/0	
	③ 各費目の評	¥細/D/1 辻管	ī)			⑤ R3→R4 増減理由
			-			人口減少やコロナ禍による米価下落を受け、国・
1.負担金補助及び交付金		造改革推進				人口減少やコロナ禍による米価下落を受け、国・ 県と連携して転作の推進を図った結果、飼料用米を
	飼料用米等	流通加速化	事業補助金			県と連携して転作の推進を図った結果、 即科用术を 中心とした作付転換が大きく進んだため。
						THUC URITHITATEM へと NEW にたけ。
(2)	特定財源の	詳細(R4決管)			
国·県支出金 水田自給力向」			+- /			
		刃				
地方債 転作作物推進事	美 慎					
その他						
(1) 市政市类に関する証体						
(4)事務事業に関する評価				८ ₩	が不調の声	田や計等について)
(4)事務事業に関する評価 判定		ルンコロート	付って レマハル 灯			因や対策について)
	人口減	少やコロナ神	間による米位 典数経営(下落を受け	、国・県と連	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作
	付転換な	が大きく進み、	農業経営6	下落を受け D安定化と水	、国・県と連出の多面的	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作 機能の維持に資することができた。
判定	付転換がまた、同	が大きく進み、 方内で生産さ	農業経営のれた飼料用	町下落を受け の安定化と水 米の約8割7	、国・県と連 は田の多面的 が市内の畜産	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作 機能の維持に資することができた。 産業者へ出荷され、市内での耕畜連携(堆肥の還元や稲わ
判定	付転換がまた、同	が大きく進み、 方内で生産さ	農業経営のれた飼料用	町下落を受け の安定化と水 米の約8割7	、国・県と連 は田の多面的 が市内の畜産	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作 機能の維持に資することができた。
判定	付転換がまた、同	が大きく進み、 方内で生産さ	農業経営のれた飼料用	町下落を受け の安定化と水 米の約8割7	、国・県と連 は田の多面的 が市内の畜産	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作 機能の維持に資することができた。 産業者へ出荷され、市内での耕畜連携(堆肥の還元や稲わ
① 事務事業の進捗	付転換がまた、市らの利用	が大きく進み、 方内で生産さ	農業経営のれた飼料用	町下落を受け の安定化と水 米の約8割7	、国・県と連 は田の多面的 が市内の畜産	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作 機能の維持に資することができた。 産業者へ出荷され、市内での耕畜連携(堆肥の還元や稲わ
判定	付転換がまた、市らの利用	が大きく進み、 方内で生産さ	農業経営のれた飼料用	町下落を受け の安定化と水 米の約8割7	、国・県と連 は田の多面的 が市内の畜産	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作 機能の維持に資することができた。 産業者へ出荷され、市内での耕畜連携(堆肥の還元や稲わ
① 事務事業の進捗	付転換がまた、市らの利用	が大きく進み、 方内で生産さ	農業経営のれた飼料用	西下落を受け の安定化と水 米の約8割ヵ 用米の作付い	、国・県と連た田の多面的が市内の畜産 け増加の一日	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作 機能の維持に資することができた。 産業者へ出荷され、市内での耕畜連携(堆肥の還元や稲わ
① 事務事業の進捗	付転換がまた、行らの利用	が大きく進み、 行内で生産さ 引)が進展して	. 農業経営のれた飼料用「おり、飼料」	西下落を受け の安定化と水 米の約8割が 用米の作付け	、国・県と連 に田の多面的 が市内の畜産 ナ増加の一足 分析(変動の	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作り機能の維持に資することができた。 産業者へ出荷され、市内での耕畜連携(堆肥の還元や稲わ切となっている。
① 事務事業の進捗	付転換がまた、行らの利用	が大きく進み、 行内で生産さ 引)が進展して	. 農業経営の れた飼料用 におり、飼料) をびWCSは	西下落を受け の安定化と水 米の約8割が 用米の作付り	、国・県と連 に田の多面的 が市内の畜産 ナ増加の一足 分析(変動の	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作 機能の維持に資することができた。 産業者へ出荷され、市内での耕畜連携(堆肥の還元や稲わ 因となっている。
① 事務事業の進捗 概ね順	付転換がまた、行らの利用	が大きく進み、 行内で生産さ 引)が進展して 動料用米別	. 農業経営の れた飼料用 におり、飼料) をびWCSは	西下落を受け の安定化と水 米の約8割が 用米の作付り	、国・県と連 に田の多面的 が市内の畜産 ナ増加の一足 分析(変動の	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作 機能の維持に資することができた。 産業者へ出荷され、市内での耕畜連携(堆肥の還元や稲わ 因となっている。
① 事務事業の進捗	付転換がまた、行らの利用	が大きく進み、 行内で生産さ 引)が進展して 動料用米別	. 農業経営の れた飼料用 におり、飼料) をびWCSは	西下落を受け の安定化と水 米の約8割が 用米の作付り	、国・県と連 に田の多面的 が市内の畜産 ナ増加の一足 分析(変動の	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作 機能の維持に資することができた。 産業者へ出荷され、市内での耕畜連携(堆肥の還元や稲わ 因となっている。
① 事務事業の進捗 概ね順	付転換がまた、行らの利用	が大きく進み、 行内で生産さ 引)が進展して 動料用米別	. 農業経営の れた飼料用 におり、飼料) をびWCSは	西下落を受け の安定化と水 米の約8割が 用米の作付り	、国・県と連 に田の多面的 が市内の畜産 ナ増加の一足 分析(変動の	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作 機能の維持に資することができた。 産業者へ出荷され、市内での耕畜連携(堆肥の還元や稲わ 因となっている。
① 事務事業の進捗 概ね順	付転換がまた、市らの利用	が大きく進み、 行内で生産さ 引)が進展して 動料用米別	. 農業経営の れた飼料用 におり、飼料) をびWCSは	西下落を受け の安定化と水 米の約8割が 用米の作付り	、国・県と連 に田の多面的 が市内の畜産 ナ増加の一足 分析(変動の	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作 機能の維持に資することができた。 産業者へ出荷され、市内での耕畜連携(堆肥の還元や稲わ 因となっている。
①事務事業の進捗概ね順	付転換がまた、行らの利用	が大きく進み、 行内で生産さ 引)が進展して 動料用米別	. 農業経営の れた飼料用 におり、飼料) をびWCSは	西下落を受け の安定化と水 米の約8割が 用米の作付り	、国・県と連 に田の多面的 が市内の畜産 ナ増加の一足 分析(変動の	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作 機能の維持に資することができた。 産業者へ出荷され、市内での耕畜連携(堆肥の還元や稲わ 因となっている。
① 事務事業の進捗 概ね順 指標ア	付転換がまた、市らの利用	が大きく進み、 行内で生産さ 引)が進展して 動料用米別	. 農業経営の れた飼料用 におり、飼料) をびWCSは	西下落を受け の安定化と水 米の約8割が 用米の作付に は、稲作農家に 展した。	、国・県と連 は田の多面的 が市内の高層 け増加の一屋 分析(変動の ことっては、)	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作 機能の維持に資することができた。 産業者へ出荷され、市内での耕畜連携(堆肥の還元や稲わ 図となっている。
①事務事業の進捗概ね順	付転換がまた、市らの利用	が大きく進み、 行内で生産さ 引が進展して 飼料用米別 していたため	、農業経営のれた飼料用 おり、飼料の とびWCSは り、大きく進の	田下落を受け の安定化と水 米の約8割が 用米の作付り は、稲作農家り 展した。	、国・県と連 は田の多の高が が市内の一日 分析(変動の ことっては、)	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作 機能の維持に資することができた。 産業者へ出荷され、市内での耕畜連携(堆肥の還元や稲わ 図となっている。 の要因や対策について) 追加投資の必要がないので取り組みやすく、補助金も充実
① 事務事業の進捗 概ね順 指標ア	付転換がまた、市らの利用	が大きく進み、 行内で生産さまりが進展して 飼料用米別していたため 令和4年度	、農業経営の れた飼料用 おり、飼料) 及びWCSは か、大きく進	田下落を受けり安定化と水米の約8割が 米の約8割が 用米の作付に は、稲作農家に 展した。	、国・県と連 は田の多の高が が市内の一位 分析(変動の ことっては、) 分析(変動の コンの関係で	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作 機能の維持に資することができた。 産業者へ出荷され、市内での耕畜連携(堆肥の還元や稲わ 図となっている。 つ要因や対策について) 追加投資の必要がないので取り組みやすく、補助金も充実 つ要因や対策について) 対象にならなかったケース、団地化の要件である飼料用専
① 事務事業の進捗 概ね順 指標ア	付転換がまた、市らの利用	が大きく進み、 行内で生産さ 引が進展して 飼料用米別していたため 令和4年度 用品種での	、農業経営のれた飼料用 におり、飼料の をびWCSは り、大きく進め 作付ができ	田下落を受けり安定化と水米の約8割が 米の約8割が 用米の作付に は、稲作農家に 展した。	、国・県と連 は田の多の高が が市内の一位 分析(変動の ことっては、) 分析(変動の コンの関係で	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作 機能の維持に資することができた。 産業者へ出荷され、市内での耕畜連携(堆肥の還元や稲わ 図となっている。 の要因や対策について) 追加投資の必要がないので取り組みやすく、補助金も充実
① 事務事業の進捗 概ね順 指標ア ② 成果指標の推移 (R3→R4)	付転換がまた、「おの利用を持ち、「おの利用を持ち、「はない」では、「はない、「はない、「はない」では、「はない、「はない、」では、「はない、」では、「は、これい、「はない、」では、「は、これい、これい、これい、これい、これい、これい、これい、これい、これい、これい	が大きく進み、 行内で生産さまりが進展して 飼料用米別していたため 令和4年度	、農業経営のれた飼料用 におり、飼料の をびWCSは り、大きく進め 作付ができ	田下落を受けり安定化と水米の約8割が 米の約8割が 用米の作付に は、稲作農家に 展した。	、国・県と連 は田の多の高が が市内の一位 分析(変動の ことっては、) 分析(変動の コンの関係で	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作 機能の維持に資することができた。 産業者へ出荷され、市内での耕畜連携(堆肥の還元や稲わ 図となっている。 つ要因や対策について) 追加投資の必要がないので取り組みやすく、補助金も充実 つ要因や対策について) 対象にならなかったケース、団地化の要件である飼料用専
① 事務事業の進捗 概ね順 指標ア	付転換がまた、市らの利用	が大きく進み、 行内で生産さ 引が進展して 飼料用米別していたため 令和4年度 用品種での	、農業経営のれた飼料用 におり、飼料の をびWCSは り、大きく進め 作付ができ	田下落を受けり安定化と水米の約8割が 米の約8割が 用米の作付に は、稲作農家に 展した。	、国・県と連 は田の多の高が が市内の一位 分析(変動の ことっては、) 分析(変動の コンの関係で	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作 機能の維持に資することができた。 産業者へ出荷され、市内での耕畜連携(堆肥の還元や稲わ 図となっている。 つ要因や対策について) 追加投資の必要がないので取り組みやすく、補助金も充実 つ要因や対策について) 対象にならなかったケース、団地化の要件である飼料用専
① 事務事業の進捗 概ね順 指標ア ② 成果指標の推移 (R3→R4)	付転換がまた、「おの利用を持ち、「おの利用を持ち、「はない」では、「はない、「はない、「はない」では、「はない、「はない、」では、「はない、」では、「は、これい、「はない、」では、「は、これい、これい、これい、これい、これい、これい、これい、これい、これい、これい	が大きく進み、 行内で生産さ 引が進展して 飼料用米別していたため 令和4年度 用品種での	、農業経営のれた飼料用 におり、飼料の をびWCSは り、大きく進め 作付ができ	田下落を受けり安定化と水米の約8割が 米の約8割が 用米の作付に は、稲作農家に 展した。	、国・県と連 は田の多の高が が市内の一位 分析(変動の ことっては、) 分析(変動の コンの関係で	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作 機能の維持に資することができた。 産業者へ出荷され、市内での耕畜連携(堆肥の還元や稲わ 図となっている。 つ要因や対策について) 追加投資の必要がないので取り組みやすく、補助金も充実 つ要因や対策について) 対象にならなかったケース、団地化の要件である飼料用専
① 事務事業の進捗 概ね順 指標ア ② 成果指標の推移 (R3→R4)	付転換が、はいます。	が大きく進み、 行内で生産さ 引が進展して 飼料用米別していたため 令和4年度 用品種での	、農業経営のれた飼料用 におり、飼料の をびWCSは り、大きく進め 作付ができ	田下落を受けり安定化と水米の約8割が 米の約8割が 用米の作付に は、稲作農家に 展した。	、国・県と連 は田の多の高が が市内の一位 分析(変動の ことっては、) 分析(変動の コンの関係で	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作 機能の維持に資することができた。 産業者へ出荷され、市内での耕畜連携(堆肥の還元や稲わ 図となっている。 つ要因や対策について) 追加投資の必要がないので取り組みやすく、補助金も充実 つ要因や対策について) 対象にならなかったケース、団地化の要件である飼料用専
① 事務事業の進捗 概ね順 指標ア ② 成果指標の推移 (R3→R4)	付転換がまた、「おの利用を持ち、「おの利用を持ち、「はない」では、「はない、「はない」では、「はない、「はない」では、「はない、「はない、「はない、「はない、「はない、「はない、「はない、」では、「はない、」では、「はない、」では、「は、「は、」は、「は、これ、「は、」では、「は、これ、「は、これ、これ、「は、これ、これ、これ、これ、これ、これい、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、	が大きく進み、 行内で生産さ 引が進展して 飼料用米別 していたため 令和4年度 用数となった	、農業経営のれた飼料用 におり、飼料の をびWCSは り、大きく進め 作付ができ	田下落を受けり安定化と水米の約8割が 米の約8割が 用米の作付に は、稲作農家に 展した。	、国・県と連 は田の多の高が が市内の一位 分析(変動の ことっては、) 分析(変動の コンの関係で	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作 機能の維持に資することができた。 産業者へ出荷され、市内での耕畜連携(堆肥の還元や稲わ 図となっている。 つ要因や対策について) 追加投資の必要がないので取り組みやすく、補助金も充実 つ要因や対策について) 対象にならなかったケース、団地化の要件である飼料用専
① 事務事業の進捗 概ね順 指標ア ② 成果指標の推移 (R3→R4)	付転換が、はいます。	が大きく進み、 行内で生産さ 引が進展して 飼料用米別していたため 令和4年度 用品種での	、農業経営のれた飼料用 におり、飼料の をびWCSは り、大きく進め 作付ができ	田下落を受けり安定化と水米の約8割が 米の約8割が 用米の作付に は、稲作農家に 展した。	、国・県と連 は田の多の高が が市内の一位 分析(変動の ことっては、) 分析(変動の コンの関係で	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作 機能の維持に資することができた。 産業者へ出荷され、市内での耕畜連携(堆肥の還元や稲わ 図となっている。 つ要因や対策について) 追加投資の必要がないので取り組みやすく、補助金も充実 つ要因や対策について) 対象にならなかったケース、団地化の要件である飼料用専
① 事務事業の進捗 概ね順 指標ア ② 成果指標の推移 (R3→R4) 指標イ	付転換が、はいます。	が大きく進み、 行内で生産さ 引が進展して 飼料用米別 していたため 令和4年度 用数となった	、農業経営のれた飼料用 におり、飼料が 及びWCSはか、大きく進か では、作付の作付ができる。	下落を受け の安定と水 米の作付に 一般で 一般で 一般で 一般で 一般で で 一般で で で で で で の 作 で で の 作 で で の 作 で で が に た の 作 で し た の に の に の に の に の に の に の に の に の に の	、国・県と連 が市市のの一 が市増加の一 分析(変動の 分析(変動の がでし、)	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作機能の維持に資することができた。 産業者へ出荷され、市内での耕畜連携(堆肥の還元や稲わ 別となっている。 の要因や対策について) 追加投資の必要がないので取り組みやすく、補助金も充実 の要因や対策について) 対象にならなかったケース、団地化の要件である飼料用専 、必要量を購入できなかった)ケースなどがあり、前年度と
① 事務事業の進捗 概ね順 指標ア (R3→R4) 指標イ 判定	付転換が、はいます。	が大きく進み、 行内で生産さ 引が進展して 飼料用米別 していたため 令和4年度 用数となった	、農業経営のれた飼料用におり、飼料的でででいた。 をびWCSはかった。 をび、大きく進め、 大きく進め、 大きく進め、 人口減 米からの。	下落を受けれている。	、国・県と画・原と面・原と面・原と面・原とののののののののののののののののののののののののの	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作成能の維持に資することができた。 産業者へ出荷され、市内での耕畜連携(堆肥の還元や稲わ 別となっている。 の要因や対策について) 追加投資の必要がないので取り組みやすく、補助金も充実 の要因や対策について) 対象にならなかったケース、団地化の要件である飼料用専、必要量を購入できなかった)ケースなどがあり、前年度と ・一次では、引き続き主食用の維持を図っていく必要がある。また、家畜用飼料(配合飼 の維持を図っていく必要がある。また、家畜用飼料(配合飼
① 事務事業の進捗 概ね順 指標ア (R3→R4) 指標イ 割定 3 今後の方向性	付転換が、はいます。	が大きく進み、 行内で生産さ 引が進展して 飼料用米別 していたため 令和4年度 用数となった	、農業経営の れた飼料用 におり、飼料的 及びWCSは り、大きく進め という。 という。 という。 という。 という。 という。 という。 という。	下落を受けれている。 下安に約作付には、 一次の作付には、 一次の作付には、 一次の作付には、 一次の作付には、 一次の作付には、 一次の作付には、 一のかったのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	、国・県と面をでは、 ・関・原多のの一 がす増加ができます。 分析(変動の) ができます。 ができまする。 ができまする。 ができまする。 ができまする。 できななる。 できなななる。 できななる。 できななる。 できなな。 できななな。 できなななな。 できなななな。 できなななな。 できななななな。 できなななな。 できなななな。	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作成能の維持に資することができた。 産業者へ出荷され、市内での耕畜連携(堆肥の還元や稲わ 別となっている。 D要因や対策について) 追加投資の必要がないので取り組みやすく、補助金も充実 D要因や対策について) 対象にならなかったケース、団地化の要件である飼料用専、必要量を購入できなかった)ケースなどがあり、前年度と 単定・方針の詳細 ナ禍からの回復の途中にもあることから、引き続き主食用 の維持を図っていく必要がある。また、家畜用飼料(配合飼 同料用米・WCS(ホールクロップサイレージ)ともに需要が
① 事務事業の進捗 概ね順 指標ア (R3→R4) 指標イ 判定	付転換が、同様をは、同様をは、同様をは、同様をは、同様をは、同様をは、同様をは、同様をは	が大きく進み、 行内で生産さ 引が進展して 飼料用米別 していたため 令和4年度 用数となった	、農業経営の れた飼料用 におり、飼料的 及びWCSは り、大きく進め という。 という。 という。 という。 という。 という。 という。 という。	下安の米米の作付に 下安のの作付に 一次をと割った。 一次を受かり、 一では、 一では、 一では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	、国・県と面をでは、 ・関・原多のの一 がす増加ができます。 分析(変動の) ができます。 ができまする。 ができまする。 ができまする。 ができまする。 できななる。 できなななる。 できななる。 できななる。 できなな。 できななな。 できなななな。 できなななな。 できなななな。 できななななな。 できなななな。 できなななな。	携して転作の推進を図った結果、飼料用米を中心とした作成能の維持に資することができた。 産業者へ出荷され、市内での耕畜連携(堆肥の還元や稲わ 別となっている。 の要因や対策について) 追加投資の必要がないので取り組みやすく、補助金も充実 の要因や対策について) 対象にならなかったケース、団地化の要件である飼料用専、必要量を購入できなかった)ケースなどがあり、前年度と ・一次では、引き続き主食用の維持を図っていく必要がある。また、家畜用飼料(配合飼 の維持を図っていく必要がある。また、家畜用飼料(配合飼

	コード・	23000	こだわり旭ブランド創出支援事業	予算科目			掲	☑ 総合戦略 ☑ 国土強靱化地域計画		
3 -107.	事務事業名			所管課 農水産課						□ 新市建設計画
+/ ^-	基本施策	2	商工業の振興	担当班		振興班	Ē		圖画	☑ 定住自立圏共生ビジョン
施策 体系		6	新たな地域産業の創出	開始年度		平成22年	度		等	☑ 過疎地域持続的発展計画
	戦略事業名	33	特産品開発事業	根拠法令	こだわり旭ブランド創出支援事業補助金交付要領ほか					□ R4主要事業

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

市内農水産物にブランド価値を備えるため、地域のイメージ・美味しさ・物語性などを取り入れ、商品開発・販路拡大・PR活動を行うなど独創的な手法によ り「旭の新たな顔」の創出に取り組む農水産業者団体等へ支援を行う。

補助対象者:市内の農水産業者団体(3戸以上)、市内の農水産業を営む法人等

補助率:補助対象経費の1/2以内で限度額50万円

補助年限:3年間

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

本市は多様な産品はあるものの、ブランド力や知名度の低さが弱みとなっ

・生産主体に占める燃料や資材の費用が高騰している

新たな商品価値を持った産品の創出により、「旭ブランド」の確立を目指す ため、平成22年度から事業を開始した。

震災等の影響により、食の安全・安心に対する関心が高くなってきた。 ・商品をPRするためのパッケージがわかりやすい。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

提供する 事業活動 成果 基本施策 基本目標 施策の展開 モノやサービス 魅力ある雇用 当該取り組みを行う パンフレット等を活用 → 農水産事業者団体等 して周知を行う
→ に補助金を交付する
→ 取り組み主体の活動が円滑 → 新たな地域産 → 商工業の振興 → 業の創出 を創出し、安 心して働ける に補助金を交付する まちづくり

(2)活動と成果の状況 ① R4の主な活動や実績

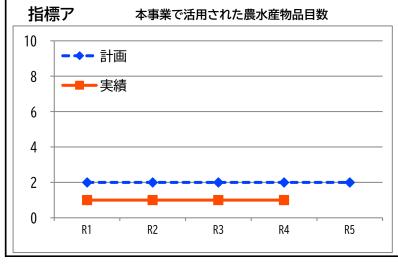
・安全・安心な牛肉生産を図るため農場

JGAPの認証を取得し、畜産物の安全の見える 化を目指している。せんば牛ブランドの普及拡大を図るためPR用ウインドブレーカーを作成し東京 食肉市場での共励会、枝肉勉強会での流通業 者・販売店へのPR、又各地域でのイベントなどで PR活動に活用し、ブランドの拡大を進めていきた

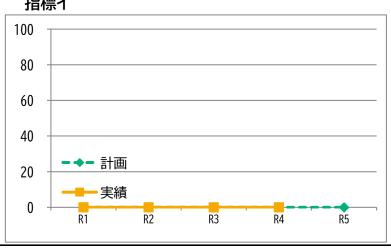
ᢇ	② 沽動指標	甲位		RT	R2	R3	R4	R5
	事業実施PR回数(市広報、JAちばみどり		計画	2	2	2	2	2
ア	広報への掲載等)		実績	1	1	1	1	
	イ 補助金申請件数		計 画	2	2	2	2	2
	1 開始业中的日数		実績	1	1	1	1	

<u>₽</u>	-						•		-
3	成果指標	方向性	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ア	本事業で活用された農水産物品	1	品目	計画	2	2	2	2	2
	目数	増やす	шн	実績	1	1	1	1	
				計					
1				画実					
				実績					

④成果指標の動向



指標イ



	3)コストの状況						単位:千円)	
	事務事業費 1. 負担金補助及び	六什么	R1決算 209	R2決算 500	R3決算 330	R4決算 222	R5予算	② 従事職員数
	1. 貝担並補助及い	文刊並	0		330 0	222	1,000	W-1 0 1
書			0		0			常時 <mark>2</mark> 人
自			0	0	0			
費目内訳								最大 人× 日 = 延べ 人
L, (
	合計		209	500	330	222	1,000	
	国·県支出	金	0	0	0		,	
財源	地方債		0	-	0	0.00	1 000	
財源内訳	その他 一般財源	ī	209		330	222	1,000	
认	一般財源の		0.0%	U	0.0%	U	0.0%	
			•					
1 1	<u>負担金補助及び交付</u>	· 全	③ 各費目の記 こだわり加	キ粬(R4冴昇 ヨブランド創		(補助全 応付		⑤ R3→R4 増減理由 微減のみ
1.5	其但亚洲 M X O X 的	NZ.	C/C47.97E	3.7 ノ ノ 1 1 日1	山义]及于未	洲奶亚人门		WA TIPAL OF
		(④ 特定財源の	詳細(R4決	算)			
[国·県支出金							
	地方債	長興基金	温1人					
			除八立					
(4	1)事務事業に関す		,			ハ+٢ /	ヤナヨの声	田かせなについて)
		判定		1ナウイルス原				因や対策について) 規制があったことで、一時生産体制や販売活動に制限が
			かかり生	上産者や加工	者の収益減	砂につなが-	ったが、補助	金は販売促進のための情報発信及びPR活動のために交
) 事務事業の進捗	("	付できる	らため、規制の 「度は(株)。	D影響を受け フルニトータ	ナないで進め ルサービスナ	ることができ ぶPR田ウイン	きたと考える。 ンドブレーカーを作成し、せんば牛ブランドの普及拡大を
	子切子木・・・・		図った。	一反は、(作)	()V— ·		/1 I(/II] / I >	アーフレーガーと下が、これは十フラフトの自攻が八と
		概ね順	1111					
		الراحا رافوار		1			N C / 1	
			判定	会和4年度/	ナ (株)マル			D要因や対策について) R用ウインドブレーカーを作成し、せんば牛ブランドの普及
				拡大を図った		V—11 X/V 3		11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/
		指標ア	1					
		10137						
			伸び悩み					
2	成果指標の推移							
	(R3→R4)		判定				分析(変動の	の要因や対策について)
		指標イ						
		行行示づ						
		判定		方針	Total Control			判定・方針の詳細
					地域の	イメージを活力	かすためには	は、何年かにわたって継続した取り組みが必要となることか
	3 今後の方向性				今後も多	定定した支援	をすることが	「重要である。
((①・②を踏まえた R5以降の方針)	継続男	尾施					
'	(コンペトサマンノコル1)							

事業コード・事務事業名		23100		予算科目	会計 一般	款 6	項 l	3	掲	
			未	所管課	農水産課					□ 新市建設計画
+1-1-1-1-	基本施策	21	廃棄物の減量化と資源の有効活用	担当班		振興班	£		計画	□ 定住自立圏共生ビジョン
施策体系		43	廃棄物の減量化と資源の有効活用	開始年度	平成9年度		等	☑ 過疎地域持続的発展計画		
14.714	戦略事業名	193	ごみの減量化推進事業	根拠法令		特にな	し			□ R4主要事業

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

農家が使用済みとなった農業用ビニールやポリエチレンなどの園芸用廃プラスチック(以下廃プラ)の適正な処理を図ることにより、資源の有効活用、農村 環境の保全及び施設園芸の健全な発展を目的としている。ちばみどり各営農センターにおいて農家から搬入された廃プラを取りまとめ、放射線量測定を行 い、処理工場(千葉園芸用廃プラスチック加工(株))東金市へ搬入している。(全15回/年)また、処理手数料(89.6円/㎏)に対し、補助金が交付されてい る。千葉県10円/kg、旭市21円/kg、JA全農千葉10円/kg(生産者負担48.6円/kg)

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

1997年12月の廃棄物処理清掃法の改正に伴い、農業廃プラの適正処 理が義務化され、全国多くの市町村で適正処理対策協議会が設立され た。当時の1市3町はちばみどり各営農センター内に園芸用廃プラスチック 対策協議会を設置し、市町合併後においても協議会は個別に存続してい る。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

近年、再生処理可能な塩化ビニルフィルムが減少し、焼却処分の対象であるポ リオレフィン系フィルムが増加している。焼却処分には処分費用がかかるため、 千葉園芸プラスチック加工㈱の経費負担が重くなってきている。また、廃プラの 不法投棄を防止し、資源の有効利用を図るためには、再生処理における農業者 負担を軽減する必要がある。(現在の生産者負担は約1/4である。) 当事業にて処理ができる廃プラはポリオレフィン系フィルムと塩化ビニルフィル ムの2種類のみである。そのため、ポリエステルフィルムや硬質プラスチックなど の廃プラも対象として欲しい。【JAより】

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

	•		HILD CO CONT		
事業活動	提供する モノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
処理工場へ廃プラを 搬入し、補助金の交付 ■ 申請を受け付ける	旭市廃プラスチック 対策協議会に千葉県 10円/kg、旭市21円 /kgの補助金を交付 する	農家が廃プラの適正処理を → 円滑に行える	廃棄物の減量 化と資源の有 効活用	廃棄物の減量 → 化と資源の有 = 効活用	ひとの定着・ 還流・移住の 流れをつく り、人々が集 うまちづくり

④成果指標の動向

(2)活動と成果の状況

① R4の主な活動や実績 補助金の交付 補助金額 7,396,600円 うち県補助金額 2,386,000円 市補助金額 5,010,600円

処理工場へ廃プラの搬入 搬入回数 15回 内訳 旭 8回

海上 2回

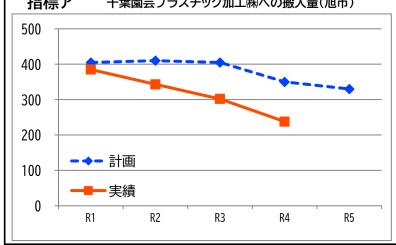
飯岡 3回

干潟 2回

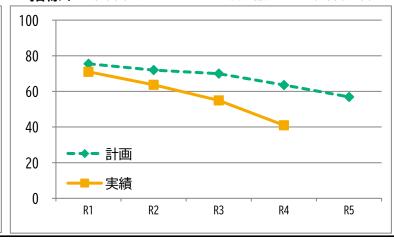


3	成果指標	方向性	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ア	千葉園芸プラスチック加工㈱へ	1	+	盐画	405	410	405	350	330
,	の搬入量(旭市)	増やす	٠	実績	385	343	302	238	
1	1年間に廃棄される園芸用の廃 プラのうち千葉園芸プラスチック	1		盐画	75.5	72.0	70.0	63.6	56.9
1	加工㈱へ搬入される割合(旭市) 搬入量/年間廃棄量×100	増やす		実績	71.0	63.7	54.9	41.0	

指標ア 千葉園芸プラスチック加工㈱への搬入量(旭市)



1年間に廃棄される園芸用の廃プラのうち 指標イ 千葉園芸プラスチック加工㈱へ搬入される割合(旭市)



(3	3)コストの状況			_	<u>i</u>)	单位:千円)	
1	事務事業費	R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	② 従事職員数
	1. 需要費	24	27	27	27	23	
	2. 負担金補助及び交付金	8,054	7,218	6,350	7,397	10, 230	常時 2 人
書		0	0	0			常時
費目内訳		0	0	0			
内							
訳							最大
	合計	8,078	7, 245	6,377	7,424	10, 253	
Н		3,834	3, 436	3,023	2,386	3, 300	
財		0,004	0, 430	0,020	2, 300	3, 300	
源	 その他	0	0	0			
財源内訳			·	2 254	F 020	6 052	
訳	一般財源	4, 244	3,809	3,354	5,038	6,953	
	一般財源の比率	52.5%	52.6%	52.6%	67.9%	67.8%	
		③ 各費目の詞	子畑/Dル汁を	۲)			⑤ R3→R4 増減理由
1 6	電車	日 谷貝日の記	+杣(N4次昇	+/			到 R3→R4 増減理田 負担金補助及び交付金について、市補助金額を11円
	需要費	E # m # -	P= 7 + L	>★ 〒 // . bn ≭¤	1 7 1 2 2 3 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1	매소	貝担金補助及び父付金について、巾補助金額を目日 /kgから21円/kgに引き上げたため、補助金額が増加
2.	負担金補助及び交付金	園会用廃っ	゚゚ラスチック	週止化処 埋	刈束事業補	助金	/Kg/1921日/kgに引き上げたため、補助並領が追加した。
							0,720
		④ 特定財源の					
[プラスチック適	正化処理対策	6事業補助3	金		
	地方債						
	その他						
<u> </u>	·						•
(4	L)事務事業に関す <u>る評価</u>						
	判						因や対策について)
							テったことにより、協議会負担が増えていたが、市補助金額
		を引き上	:げたことによ	り、協議会	負担の減少	を図った。	
1	事務事業の進捗	ノ)					
	が予めず来りたり						
	概ね	順調					
			1				
		判定					の要因や対策について)
		24	千葉園芸プ	ラスチックカ	口工(株)が処	理料金の値	1上げを実施し、他の処理先への搬入が増加しているため。
	- I 指標ア						
	1日1示 /						
		低下					
2	成果指標の推移	154 1					
	(R3→R4)	判定				分析(変動の	の要因や対策について)
		24	千葉園芸プ	ラスチックカ	口工(株)が処	理料金の値	上げを実施し、他の処理先への搬入が増加しているため。
	1七十五 /						
	指標イ	MIC					
		V T T					
		低下					
		120 1					
	判	定	方針				判定・方針の詳細

・補助金の交付(市補助金21円/kg) ・処理工場へ廃プラの搬入(昨年より2回搬入回数増加)

③ 今後の方向性 (①・②を踏まえた R5以降の方針)

== **	← ¬			予算科目	会計	款	項	目		☑ 総合戦略 重点 1
事業コード・事務事業名		23200	園芸生産強化支援事業		一般	6	1	3	掲	
				所管課			載計	□ 新市建設計画		
+	基本施策 1		農水産業の振興	担当班		振興班	E		圖画	
	施策体系		農畜産物の生産振興	開始年度	平成29年度					☑ 過疎地域持続的発展計画
PTVIN	戦略事業名	1	園芸生産強化支援事業	根拠法令	旭市補助金等交付規則					□ R4主要事業

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

・「輝け!ちばの園芸」次世代産地整備支援事業(R3~R5※H30~R2から延長)⇒安定生産や品質向上を図るための生産施設や省力機械、環境モニタリング装置、集出荷施設の整備等を支援する。対象者:認定農業者等 補助率:県1/4以内・市1/20以内(個人利用)、県1/3以内・市1/15以内(個人利用で環境モニタリング装置等)、県1/3以内・市1/15以内(共同利用)

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

【「輝け!ちばの園芸」次世代産地整備支援事業】「園芸産出額全国1位」 を目指して平成18年度から同様の内容の事業が実施されている。

【「輝け!ちばの園芸」次世代産地整備支援事業】市の上乗せ補助金を平成23年度(共同利用のみ)から開始し、現在に至る。平成29年度より、園芸施設省エネルギー化推進事業で取り扱ってきた暖房機などの導入についても本事業で扱うようになった。平成30年度より、環境モニタリング装置等の導入に対して支援する園芸施設スマート農業推進型が新たに追加された。

「輝け!ちばの園芸」次世代産地整備支援事業は、事業実施者からは、継続を望む意見がある。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

提供する 事業活動 成果 施策の展開 基本施策 基本目標 モノやサービス 魅力ある雇用 事業実施農家の実施 事業実施農家の園芸農業の 農畜産物の生 → 農水産業の振 → 産振興 を創出し、安 生産施設や省力機械 ⇒ 計画書等作成支援し、⇒ 生産が安定し、品質が向上 ⇒ 等の整備を支援する 心して働ける 産振興 する。 補助金を交付する。 まちづくり

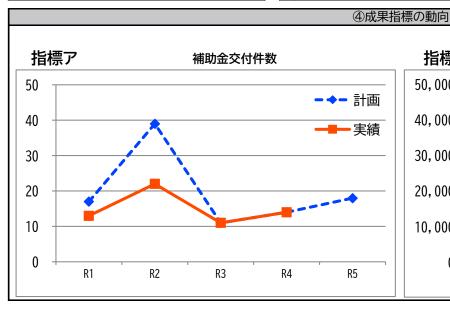
(2)活動と成果の状況 ① R4の主な活動や実績

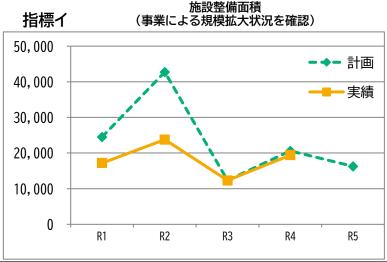
① R4の主な活動や実績 園芸農業の生産販売力強化を図るため、安定生産や品質向上を図るための生産施設や省力機械等の整備等に対して支援する。

- ①次年度要望調査
- ②事業実施希望者説明会
- ③実施計画書等作成支援
- ④補助金の交付
- 5事業実施者へ利用状況調査

→[2	活動指標	単位		R1	R2	R3	R4	R5
	님	申請件数	件	計画	17	39	25	35	31
	,	中胡丁欽		実績	20	42	25	34	
	1	事業PR回数		計画	1	1	1	1	1
	1	争未どれ四奴		実績	1	1	1	1	

③ 成果指標 単位 R2 R3 R5 方向性 R1 R4 17 39 11 14 18 件 補助金交付件数 実 13 22 11 14 増やす 施設整備面積 24, 489 42, 730 12, 317 20,603 16, 250 (事業による規模拡大状況を確 m 認) 17, 197 23, 783 12, 317 19,413 増やす





	(3)コストの状況 ① 東致東衆夷 D1油質 D2油質 D2油質 D2油質 D5.3質 D5												
1	事務事業費		R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	② 従事職員数					
	1. 負担金補助及びる	交付金	43, 257	137, 130		67, 988							
			0	0	0	,	,						
#			0	0	0			常時 <mark> 4 </mark>					
費目内訳			0	0	0								
閉			U	U	U								
								最大 人× 日 = 延べ 人					
兀													
	合計		43, 257	137, 130	73,948	67,988	65, 108						
	国·県支出		36,051	121, 187	53, 933	56,660							
財	地方債	<u></u>	00,001	0	00,000	00,000	01,201						
財源内訳	<u> </u>		0	0	0								
内				٠	00 015	11 200	10 051						
訳	一般財源		7, 206	15, 943	20,015	11,328	10,851						
	一般財源のと	<u>比率</u>	16.7%	11.6%	27.1%	16.7%	16.7%						
_													
			③ 各費目の語					⑤ R3→R4 増減理由					
1.1	負担金補助及び交付	金	「輝け!ち	ばの園芸」	次世代産地	整備支援事	業	微増のみ					
				大支援事業									
				芸暖房用燃									
			/これが正文区	AWN/J/II/M		-1·/-							
		(④ 特定財源の	詳細(R4決	算)								
[国·県支出金 「輝	ナ!ちば	の園芸」次世代	七產地整備	支援事業. 原	芸生産拡大	· 支援事業						
	地方債	, , , , , ,	- 111, 711,	()	1,2,1,1,1	,							
	その他												
	CONE												
(1)事務事業に関す	ス証価											
$\stackrel{\sim}{\Box}$	/ 尹勿尹未に以り	判定	, 			分析(/ 松不調の亜	因や対策について)					
		NI ₁ +		は後の利用力	公田田木から			の生産量等の7割以上を達成している。					
			尹未夫》	四夜の利用か	(犯調重では	、はは主美	心有が計画(の生産重寺の7割以上を建成している。					
		(
1	事務事業の進捗	1	//										
	ナルナンペーン												
		順調	割										
		POTE	~										
			判定				分析(変動の	の要因や対策について)					
			SU	資材高騰の	影響により			は減少傾向にあるが、燃料費等の経費削減を図るため、省工					
				ネ、省力化	幾械の導入の	の申請が増加	111/2	TO THE TOTAL THE MENT OF THE PROPERTY OF THE P					
			C32 N	11 673 101.	M IM O AT 7 CO	2.1.119.W 5.EV	JH 07C ₀						
		指標ア	10										
			7 7 7										
			好調維持										
2	成果指標の推移												
	(R3→R4)		判定				分析(変動の	の要因や対策について)					
				新型コロナ	ウイルスの景	響により控	えていた設備	備投資の回復により、施設整備面積が拡大した。					
							,,,,,						
			692										
		指標イ	40										
			好調維持										
		判定	-	方針				判定・方針の詳細					
					「輝け!	ちばの園芸	次世代産地	整備支援事業を活用してもらうため、広報あさひへ募集記					
(の人然の十七世							D実施希望者の相談対応を継続していくことにより、園芸農					
	3 今後の方向性				業の生産	医販売力強化	とを図る。						
((①・②を踏まえた	継続写	と 施										
	R5以降の方針)												

	3 - 3/3 3 -	7 I VE I I								
# **	- I»			予算科目	会計	款	項	目		☑ 総合戦略
事業コード・事務事業名		23300	農業経営多角化支援事業		一般	6	1	3	掲	
				所管課	農水産課			載	□ 新市建設計画	
+1-1-1-1-1-1	基本施策		農水産業の振興	担当班	振興班					☑ 定住自立圏共生ビジョン
他汞 体系	施策 休玄		農畜産物の生産振興	開始年度	平成26年度					☑ 過疎地域持続的発展計画
PTVIN	戦略事業名	3	農業経営多角化支援事業	根拠法令 旭市補助金等交付規則					□ R4主要事業	

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

農産物の加工や販路の拡大等、経営の多角化による所得向上、経営安定を図るための取組に必要な加工機械・施設等の整備を支援する。 補助率:県1/3以内(上限300万円)ただし、市が県の補助金額の1/2以上補助する場合

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

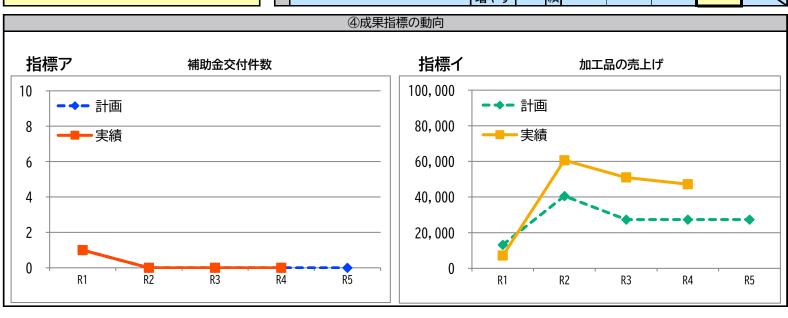
農産物の価格が低迷する中、農業者が経営の安定を図り、農業経営の持 続的発展を図るために経営多角化の取組について事業が開始された。

経営多角化に向けた取組では、開発した商品についての消費者ニーズの把握やPRなどが必要なことから、申請者が少ない(27年度は県内全体で4件の申 請)。平成27年度からソフト事業(補助率:県1/2以内)が廃止された。 本事業利用者からは経営の多角化を目指す農業者には有用であるなどの事業 を評価する意見がある。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

提供する 事業活動 成果 施策の展開 基本施策 基本目標 モノやサービス 魅力ある雇用 事業実施農家の農産物の加 経営多角化に対して、 ・事業実施農家の実施 必要な機械・施設等の ➡ 計画書等作成支援し、➡ 農畜産物の生 → 農水産業の振 → 産振興 を創出し、安 エや販路の拡大等、経営の 多角化が進み、所得が向上 心して働ける 整備を支援する 補助金を交付する。 する。 まちづくり





(3	3)コストの状況						<u>i</u>)	单位:千円)	
1	事務事業費		R1》	決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	② 従事職員数
	1. 負担金補助及び	交付金	4,	, 500	0	0		0	
				0	0	0			常時 1 人
費				0	0	0			
間				0	0	0			
費目内訳									最大 <mark> 人 × 日 = 延べ 人</mark>
	合計		4.	, 500	0	0	0	0	
	国・県支出			,000	0	0		0	
財	地方債		,	0	0	0			
源	その他			0	0	0			
財源内訳	一般財源			,500	0	0	0	0	
	一般財源の	北率	33	3.3%					
			③ 久書	日の詩	f細(R4決算	۲)			⑤ R3→R4 増減理由
1 1	負担金補助及び交付	·金			角化支援事				事業実施希望者なし
1.,	共正並 間の人(人)	<u> </u>	12/1	<u> </u>	/11日人1及于	不同约亚			李永久//217至日 3 G
					詳細(R4決)	算)			
[経営多角	化支援事	業補助	力金				
	地方債								
	その他								
(4	1)事務事業に関す								
		判员		عاد كر عالد	- × += +/ 1. 1		分析(好不調の要	因や対策について)
			事	業実施	通希望者なし				
		(-)						
1	事務事業の進捗		ン						
)							
		停港	#						
		13 //							
			判定			9 13 1 1 1 1 1)要因や対策について)
			75	<u> </u>	相談者はい	るが事業実	施まで至らな	よかった。	
			(F)	7					
		指標ア							
			**	,					
			伸び悩	がみ					
2	成果指標の推移								
	(R3→R4)		判定						り要因や対策について)
			25		事業実施後	の利用状況	記調査では、	事業実施計画	画の売り上げ額以上を達成している。
			(62 ²)	M					
		指標イ	40						
			7.7	4					
			好調絲	#					
			大」 回りが	年17万					
		判定	=		方針				判定・方針の詳細
						農業経営	営多角化支援	受事業を活用	してもらうため、広報あさひへ募集記事掲載によるPR活
(③ 今後の方向性					野や窓口	」じの実施希	望者の相談	対応を継続していくことにより、農業者の所得向上を図る。
(①・②を踏まえた R5以降の方針)	≪水水井□	包括						
	R5以降の方針)	継続	一人心						

	ミコード・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	23500	農業経営基盤強化促進事業	予算科目	会計 一般	款 6	項 l	3		☑ 総合戦略 重点 1☑ 国土強靱化地域計画
学 协争未有				所管課	所管課 農水産課					□ 新市建設計画
+	基本施策	1	農水産業の振興	担当班		振興班	E		圖	□ 定住自立圏共生ビジョン
施策体系		2	安定した農業経営の推進		平成19年度				等	☑ 過疎地域持続的発展計画
PAVIN	戦略事業名	9	農業経営基盤強化促進事業	根拠法令	法令 旭市担い手育成総合支援協議会規約					□ R4主要事業

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

本事業は、安定した経営を行う農業者を育成することで、本市農業の健全な発展に寄与することを目的としている。

千葉県やちばみどり農業協同組合等の関係機関により構成されている「旭市担い手育成総合支援協議会」において、新規就農者の獲得や、市が認定し た農業者(認定農業者)の育成を行う

農業者の育成支援として、農産物の商談会や直売会等に参加してもらい新たなマーケティングの確立や農業者への営農指導、国・県の支援策の情報提 供等を実施してきた

これまでの事業内容を見直した結果、今後は次世代の農業を担う人材の確保に重点を置き、農林水産省等が開催する新規就農希望者向けの相談会に 積極的に参加を行う活動方針に改める。

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

認定農業者を対象とした各種施策を集中的・重点的に実施することとな り、認定農業者制度を推進することとなった

農業者数は減少傾向にあるので、認定農業者の増加と平行して、農業者 数の確保を行っていく必要がある。

・景気の低迷、農業世帯数の減少、農業従事者の高齢化など 農業者から「新たな農業経営指標を活用した経営分析など、農業者自らが作 成すべき書類が年々増えており、農業者にとって負担となっている」との意見が

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

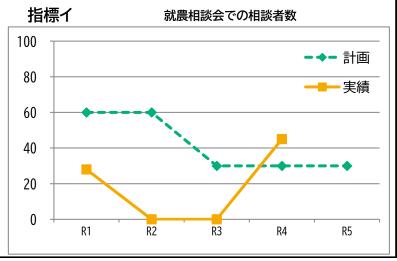
提供する 事業活動 成果 基本施策 基本目標 施策の展開 モノやサービス 就農を希望する者の 魅力ある雇用 国、県補助金等の周 新規就農者や経営の改善を 就農相談や、既存の 農水産業の振 安定した農業 経営の推進 を創出し、安 知、計画作成支援や 希望する者が、アドバイス ⇒農業者で経営の改善⇒ や計画を今後の営農の指標・ 新規就農者の就農相 興 心して働ける を希望する者の計画 とすることができる 談を行う まちづくり 作成支援を行う

(2)活動と成果の状況 ① R4の主な活動や実績

- ・農業経営改善計画作成に関する支援
- 国、県補助金等の周知、計画作成支援
- ·新規就農者の就農相談
- 就農支援パンフレットの作成

]⇒	2	活動指標		単位		R1	R2	R3	R4	R5
	ア	就農相談会への出展回数			計画	4	4	2	3	3
		孙庞作改安八 07山成凹数		บ	実績	3	0	0	2	
	1	認定農業者数		件	計画	795	805	805	753	771
		心心心 未有奴		Н	実績	791	793	748	761	
	₽					_				
	3	成果指標	方向性	単位		R1	R2	R3	R4	R5
	マ	認定農業者のうち、農業経営基盤の 強化の促進に関する基本的な構想に	1	%	計画	66.5	66.7	65.5	60.4	60.0
		定める所得目標達成割合(1経営体当 たり年間農業所得 600万円)	増やす	/0	実績	65.1	64.3	60.2	59.2	
	1	就農相談会での相談者数	1	人	計画	60	60	30	30	30
	-1	列辰作談去でい作談有数	増やす	\	実績	28	0	0	45	

④成果指標の動向 認定農業者のうち、農業経営基盤の強化の促進に関する 基本的な構想に定める所得目標達成割合(1経営体当た 指標ア り年間農業所得 600万円) 100 80 60 40 - - 計画 20 実績 0



(3	3)コストの状況					(≛	单位:千円)						
	事務事業費		R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	② 従事職員数					
	1. 需用費		58	9	15	0	0						
	2. 役務費		0	0	0	0	0	常時 4 人					
53.	3. 使用料及び賃借料		0	0	0	0	0						
目内訳	4. 負担金補助及びる	交付金	453	162	268	166	670						
囚								最大					
八													
	Λ=1		F11	171	0.00	1.00	C70						
	合計		511	171	283	166	670						
財	国・県支出	<u>亚</u>	0	0	0								
源	<u>地方債</u> その他		0	0	0								
源内訳		i	511	171	283	166	670						
訳	一般財源のと		100.0%		100.0%	100.0%	100.0%						
Щ	四文六分 加小マフレ	·U- T-	100.0/0	100.0/0	100.0/0	100.070	100.070						
			③ 各費目の評	详細(R4決算	Į)			⑤ R3→R4 増減理由					
	票用費		HTT OHH I	I刷製本				4. 負担金補助金及び交付金については、新型コロナ					
	役務費		通信運搬					ウイルスの影響により就農相談フェアへの出展回数 の減少や、パンフレット増刷の見合わせによる事業					
	使用料及び賃借料		事務機器賃		t-1111.1.1.1.1			費の減少。					
4.	負担金補助及び交付	·金	旭市担い手)手育成総合支援協議会補助金									
		/	② 特定財源の	=¥4m/D /\sh	な \								
F	国·県支出金	(④ 特定財源の	計価(K4次	异/								
E	型·宗文山並 地方債												
	その他												
	C 07 E												
(4)事務事業に関す												
		判定						因や対策について)					
								需要の減少等により、所得は減少したが、認定農業者制度					
		(0)メリツ	ト措直の向为	」、計画の作	戍文援寺を を	すつたことにも	より、認定農業者数は前年度より増加した。					
1	事務事業の進捗												
		概ね』	舌≡■┃										
		ᆘᄊ℩ᄊ	只可										
			判定					要因や対策について)					
			45					スによる需要の減少等により、所得が減少した経営体が多					
						対する各種の	の支援措置を	と活用してもらうため、認定農業者の新規申請や更新手続					
		指標ア	TE C	きを支援した	€.								
		31130											
			/+ < %h)/ ¬										
2	成果指標の推移		伸び悩み										
8	成未指標の推修 (R3→R4)		判定				分析(変動の	要因や対策について)					
	(113 / 114)		TINE	·就農相談	フェアへ出展			住検討者へのPR活動を実施した結果、相談者数を増やす					
				ことができた		- 1 -1/1/204/0/2	- 1						

判定・方針の詳細 認定農業者の計画作成支援、就農相談フェアへの出展による新規就農者の掘り起こしにより、担い手の確保と育成を推進していく。

指標イ

③ 今後の方向性 (①・②を踏まえた R5以降の方針) 判定

継続実施

向上

方針

	事業コード・事務事業名		畜産振興事務費(畜産生産組合への 支援)	予算科目	会計 一般			掲	☑ 総合戦略 □ 国土強靱化地域計画	
310.			又1友)	所管課	農水産課					□ 新市建設計画
+/ ^-	基本施策	1	農水産業の振興	担当班		畜産班	E		計画	□ 定住自立圏共生ビジョン
施策体系		1	農畜産物の生産振興	開始年度		不詳			等	□ 過疎地域持続的発展計画
14.71	戦略事業名	7	畜産生産組合への支援	根拠法令	旭市	補助金交	付規則			□ R4主要事業

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

地域畜産業の振興を図るため、「生産組合の事業活動(組合で行う勉強会や先進地視察等)の支援」及び「生産組合が開催する肉の共進会(組合員が飼育 した家畜の品評会)」への助成を行う。

·補助金交付団体:2団体

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか) 事業を実施することで効果は出ているものの、畜産農家戸数は年々減少してい

「地域畜産農家の連携強化」、「家畜伝染病に対する防疫強化」、「地域畜 産物の生産技術向上」を目的として、生産組合への助成を開始。現在、生 産組合の活動の大きな助けとなっている。

事業を実施することで、畜産農家から「農家間の連携が強化された」、「組合員 個々の防疫意識が向上した」等といった声があがっている。

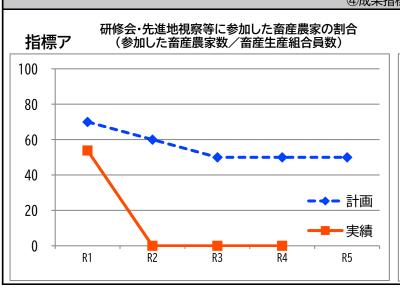
④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

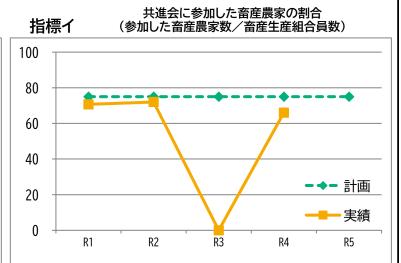
	~		335 3 717 7 1 1 5 = 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						
事業活動	提供する モノやサービス		成果		施策の展開		基本施策		基本目標
生産組合の事業活動 の支援及び生産組合 が開催する肉の共進 会への助成をする	生産組合に運営費及 び共進会や共励会費 への補助金を給付す る	⇒	生産組合の活動が活発になり、農家間の連携強化や生産技術強化に繋がる	⇒	農畜産物の生 産振興	⇒	農水産業の振 興	_	魅力ある雇用 を創出し、安 心して働ける まちづくり

(2)活動と成果の状況 ① R4の主な活動や実績 ・補助金の交付

・適正に補助金が使われているか確認







(:	3)コストの状況					(単	位:千円)					
	事務事業費		R1決算	R2決算	R3決算		R5予算	② 従事職員数				
	1. 肉用牛生産肥育約	組合補助金		138	138	138	138	C In 3 - IMP COV				
	2. 干潟種豚組合補助		0	0	0	100	100					
	3. 養豚組合補助金	-73 312	0	0	0			常時 <mark> 1 </mark> 人				
	4. 養豚生產者組織补	補助全	297	297	197	297	297					
目内	1. 及的工注目相称	111273 312	201	201	101	201	201					
訳								最大 <mark> 3 </mark> 人 × <mark> 30 </mark> 日 = 延べ 90 人				
	合計		435	435	335	435	435					
	国·県支出	<u></u>	0	0	0	100	TJJ					
財	地方債	717	0	0	0							
源内	その他		0	0	0							
内	一般財源	ī	435	435	335	435	435					
訳	一般財源のと		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%					
		<u> 七竿</u>	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%					
		(③ 各費目の評	詳細(R4決算)			⑤ R3→R4 増減理由				
	肉用牛生産肥育組合		事業活動支	援:53千円、		成:85千円		中止となっていた豚肉共進会が開催できた為。				
	干潟種豚組合補助金	È	(平成29年		[合と合併)							
3.	養豚組合補助金		(平成29年	4月 種豚組	[合と合併)							
4.	養豚生産者組織補助	金	事業活動支	援:197千円	人共進会助	b成:100千F	円 一					
		4	特定財源の	詳細(R4決算	〔							
[国·県支出金											
	地方債											
	その他											
<u> </u>	1)事務事業に関す	ス評価										
	+/争物争未に因り	判定				分析(力	4不調の要	因や対策について)				
			例年通り	実施できた		7) 1/1-50						
1	事務事業の進捗	(U))									
		概ね順	≘囯∥									
		1996年1997日	미민									
			判定)要因や対策について)				
			25	新型コロナウ	イルスの影	響により、研	修会や視察	が実施できなかった				
		指標ア	10									
		10137										
	N — U. I — - 1446	4	伸び悩み									
(2)	成果指標の推移	_	Wild			,	\ \					
	(R3→R4)		判定	15th 11:14 A	13日日 /山 ン)要因や対策について)				
			A STATE OF THE PARTY OF THE PAR	豚肉共進会?	が開催でき、	多数の参加	者が集まった	TC				
			F 0 5									
		指標イ	10									
			700 "									
			占 L									
			向上									
		判定		方針				判定・方針の詳細				

判定・方針の詳細 地域畜産業の進行を図るため、引き続き助成していく

③ 今後の方向性 (①・②を踏まえた R5以降の方針)

= **	- I»			予算科目	会計	款	項	目		☑ 総合戦略
	コード・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	24100	家畜防疫対策事業	J'#M'I	一般	6	1	4	掲載	
3-10%	争协争未位			<mark>所管課</mark> 農水産課						□ 新市建設計画
+	基本施策	1	農水産業の振興	担当班		畜産班	E		画	□ 定住自立圏共生ビジョン
施策体系	施策の展開	1	農畜産物の生産振興	開始年度	不詳					
14.71	戦略事業名	5	家畜防疫対策事業	根拠法令	旭市補	助金等交	付規則等	争		□ R4主要事業

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

近年、畜産経営では、飼養規模の拡大が進行する中、さまざまな家畜伝染病の発生が危惧され、衛生管理の強化が重要となっている。 このような畜産環境の中、家畜伝染病の予防接種や検査を実施した事業者に対し補助金を交付し、家畜伝染病の発生及び蔓延を未然に防止し、経営の安 定を図る。

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

家畜伝染病の発生及び蔓延を防止して畜産経営の安定化を図るべく始まった。

豚オーエスキー病については、平成29年度末に千葉県は清浄化の扱いとなった。しかし、近隣県では依然として疾病の発生が続いているため、完全清浄化に向け清浄性を維持するためにワクチン接種を継続している。 畜産農家から、「ワクチン接種や検査に補助がでることで、負担が軽減できている。今後も予防接種や検査を実施するにあたり、事業を続けていってほしい」と

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

いう声がある。

提供する 事業活動 基本施策 基本目標 成果 施策の展開 モノやサービス 家畜の疾病発病を未然に防 魅力ある雇用 家畜伝染病の予防接 ぎ畜産経営者への被害を回 家畜伝染病の予防接 農畜産物の生 → 農水産業の振 → 産振興 を創出し、安 種や検査を行った畜 避する。特に、オーエスキー 種や検査の費用負担 🖒 病については、地域清浄化 産農家に補助金を交 産振興 心して働ける に対し助成をする を達成する。(ステータスIV 付する まちづくり にする。)

(2)活動と成果の状況 ① R4の主な活動や実績

① R4の主な活動や実績 家畜伝染病の発生及び蔓延を未然に防止するために以下のワクチン接種や検査、消毒薬等購入事業に対して補助金を交付した。

- ・牛のヨーネ病検査事業
- ・牛のアカバネ病ワクチン予防事業
- ・牛ウイルス性下痢粘膜病予防事業
- ・豚のオーエスキー病予防事業
- ・豚熱ワクチン予防事業
- ・ニューカッスル病予防事業
- ·家畜防疫用消毒薬等購入補助

→ [②活動指標	単位		R1	R2	R3	R4	R5
5	,ワクチン及び検査を行った家畜の総頭羽	頭·羽	計画	2,763,399	3, 885, 700	4, 253, 225	4, 142, 000	4, 163, 100
	数		実績	4, 199, 085	4, 435, 333	4, 135, 285	3,621,705	
	,		計画					
			実績					
1	-							

\sim									
3) 成果指標	方向性	単位		R1	R2	R3	R4	R5
マ	関係する伝染病が蔓延した畜舎	1	П	計画	0	0	0	0	0
۲	数	減らす	,	実績	0	0	0	0	
1	オーエスキー地域清浄化レベル (ステータス皿は、希望制でワクチン接	1	ステータス	計画	3	3	3	3	3
1	種行い、清浄性が確認できれば 順次接種を中止していく段階)	増やす	X7-9X	実績	3	3	3	3	

④成果指標の動向 オーエスキー地域清浄化レベル (ステータスⅢは、希望制でワクチン接種行い、清浄性が確認 指標ア 関係する伝染病が蔓延した畜舎数 指標イ できれば順次接種を中止していく段階) 5 10 4 8 ━ 実績 3 6 4 2 --- 計画 2 1 実績 n 0 R1 R2 R3 R4 R5 R2 R3 R5

(3)コストの状況 <u>(</u>単位:千円) ①事務事業費 R1決算 R2決算 R3決算 R4決算 R5予算 1. 牛の検査事業 470 640 71 費 3. 豚の予防接種事業 目 4. 鶏の予味やご 1,042 1,858 32,000 254 1,367 1,365 21,965 17,788 53, 732 41,544 3, 131 3,038 2,860 2,454 3,000 5. 家畜防疫用消毒薬等購入事業 1,538 3,480 21, 244 57,812 46, 241 27,334 40,978 合計 国·県支出金 12,500 地方債 0 0 5,900 8,500 その他 0 0 0 般財源 21, 244 57,812 33,741 21, 434 32,478 100.0% 一般財源の比率 100.0% 78.4% 79.3% 73.0%

② 従事職員数											
常時	1	人									
最大	3	Д×	30	日=	延べ	90	人				
					-						

	③ 各費目の詳細(R4決算)
1.牛の検査事業	ヨーネ病:補助率1/2(640円/頭)
2.牛の予防接種事業	アカバネ病、ウイルス性下痢・粘膜病:補助率1/10
3.豚の予防接種事業	オーエスキー病:補助単価30円、豚熱ワクチン:接種方法により補助単価50円又は25円
4.鶏の予防接種事業	ニューカッスル病:補助単価1円
5.家畜防疫用消毒薬等購入事	業 補助率1/2
	④ 特定財源の詳細(R4決算)
国·県支出金	
地方債 <mark>家畜防疫対策</mark>	事業債
その他	
· ·	·

⑤ R3→R4 増減理由
豚熱ワクチン予防事業の補助単価が減少したため

(4)事務事業に関する評価 分析(好不調の要因や対策について) 判定 各種予防接種や検査の実施を支援することにより、家畜防疫を促進することができ、畜産経営の安定化に寄与する ことができた。 ① 事務事業の進捗 順調 判定 分析(変動の要因や対策について) 市内で家畜伝染病の発生が確認されていないため。 NS. 指標ア **4** 好調維持 ② 成果指標の推移 (R3→R4) 分析(変動の要因や対策について) 判定 新たにオーエスキー病の発生がなく、清浄性を維持できているため。 指標イ 好調維持 判定 方針 判定・方針の詳細 近隣県では豚熱の発生が確認されており、衛生管理の強化が重要になる。このような環境のなか畜産農家の負担を減らすため、継続して事業を実施する必要がある。 ③ 今後の方向性 (①・②を踏まえた 継続実施 R5以降の方針)

= **	- I»			予算科目	会計	款	項	目		☑ 総合戦略
	コード・ 野業名	24200	さわやか畜産総合展開事業	J'#111	一般	一般 6		4	掲	□ 国土強靱化地域計画
31 47	于未口			所管課 農水産課						☑ 新市建設計画
+	基本施策	1	農水産業の振興	担当班	畜産班					□ 定住自立圏共生ビジョン
施策体系	施策の展開	1	農畜産物の生産振興開		平成16年度					□ 過疎地域持続的発展計画
14,117	戦略事業名	8	さわやか畜産総合展開事業	根拠法令	旭市袖	甫助金等	交付規則			□ R4主要事業

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

家畜飼養規模の拡大や畜舎の周辺の住宅化に伴う悪臭、水質汚濁、害虫の発生など畜産環境問題の増加に対処するため、家畜ふん尿の処理設備の整備 を促進し、生産される堆肥の資源としての利用を進めることで環境の保全を行い、地域と調和した畜産業の安定した成長を図る。

- ・対 象 事 業:農家集団、認定農業者が行う、悪臭防止や水質改善のための堆肥化施設、汚水浄化施設や装置の導入補助
- ・補助率:県…1/5、市…1/10(1事業の上限1,000万円)

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

地域住民の環境への関心が高まり畜産環境に注目が集まり、環境に配慮 した畜産経営を推進するために開始した。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

処理施設を持たなかった畜産農家の新規の施設整備がほぼ完了し、今後は処理設備の高度化の要望が増えていくことが考えられる。また平成28年度から堆肥散布機を事業で導入することが可能となった。

畜産農家から「堆肥を適切に処理できるようになり、近隣住民から苦情を言われることが大幅に減った」との声がある。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

提供する 事業活動 成果 基本施策 基本目標 施策の展開 モノやサービス 魅力ある雇用 家畜糞尿が適切に処理さ 家畜糞尿処理施設の 家畜糞尿処理施設を れ、公害の発生を防ぐ。生産された堆肥も資源として 産された堆肥も資源として 産主れた堆肥も資源として 産振興 を創出し、安 整備費用に対し助成 ➡ 整備した畜産農家に 産振興 心して働ける をする 補助金を交付する 利用することができる。 まちづくり

④成果指標の動向

(2)活動と成果の状況 ① R4の主な活動や実績

0

① R4の主な活動や美績 家畜糞尿処理施設の整備。R4実績は以下の通り。

・縦型急速発酵堆肥化装置の導入(1基)

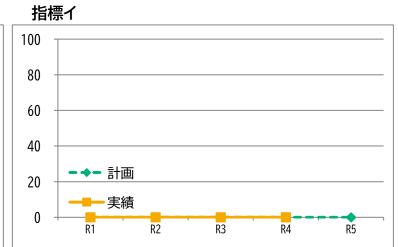
ᅱ	2	活動指標		単位		R1	R2	R3	R4	R5
	ア	補助金の交付件数		件	計画	3	1	2	1	1
	,	州の並の文刊下数			実績	3	1	1	1	
	1				計画					
	1				実績					
-	Û							-		
	3	成果指標	方向性	単位		R1	R2	R3	R4	R5
	ア	畜産農家が原因の苦情件数		件	計画	9	9	10	10	10

 ③ 成果指標
 方向性
 単位
 R1
 R2
 R3
 R4
 R5

 ア 畜産農家が原因の苦情件数
 件
 計画
 9
 9
 10
 10
 10

 実績
 13
 12
 11
 15





	3)コストの状況						単位:千円)	
1	事務事業費	1.71.6	R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	② 従事職員数
	1. 負担金補助及び	交付金	4,652		1,425	8,160	7,380	
			0	0	0			常時 <mark> 1 </mark> 人
費			0	0	0			
周			0	U	U			
費目内訳								最大 <mark> 3 </mark> 人 × <mark> 30 </mark> 日 = 延べ 90 人
, , ,								
			4,652	8,937	1,425	8, 160	7,380	
	国·県支出	<u></u>	3, 101	5, 958	950	5,440	4, 920	
財	地方債	717	0, 101	0, 550	0	J, 440	4, 340	
財源内訳	その他		0	0	0			
囚品	一般財源	į	1,551	2,979	475	2,720	2,460	
办	一般財源の		33.3%		33.3%		33.3%	
Щ	(327)3 ((3) = 2)		3313/0	331 370	331 370	331 370	331 370	
			③ 各費目の記					⑤ R3→R4 増減理由
1.	負担金補助及び交付	金	さわやか畜	產総合展開	事業補助金	(県・市合	算分)	事業費が増額したため。
				=+4=/-> 4>+	/**/* \			
<u> </u>			④ 特定財源の					
		いか台座	総合展開事業	伸助金(県 2	文刊分)			
	地方債 その他							
	C OTIE							
(4	4)事務事業に関す							
		判定						因や対策について)
					こより、耕種	農家が求める	る高品質な地	性肥の生産が可能になり、堆肥の利用促進に寄与すること
			ができた	-0				
1	事務事業の進捗		//					
	3 3.0 3 4 1 4 7 2 3							
		707 July	===					
		概ね』	其制					
			判定				分析(変動の	
			NG.	市への苦情	件数は例年	通りのため。		
		指標ア						
		打印信示グ						
	. N		伸び悩み					
2	成果指標の推移		Wich				ハ ょ ア / カ ェチェク	2. エロルとないるいる)
	(R3→R4)		判定				分析(変動))要因や対策について)
		指標イ						
		判定		方針				判定・方針の詳細
					今後も生	産した堆肥	の利用を含む	めた家畜糞尿処理設備の高度化が求められるので事業を
(③ 今後の方向性				継続する	る必要がある	0	
	①・②を踏まえた	◇N/◇士□	□+/ -					
	R5以降の方針)	継続到	∈ / 他					

	コード・	24220	畜産競争力強化対策整備事業	予算科目	会計 一般	款 6	項 1	目	掲	☑ 総合戦略 □ 国土強靱化地域計画
事務事業名		首性脱ずり強化対象整備事素 一般 0		<u>_</u> 課	7	載試	□ 新市建設計画			
+	基本施策	1	農水産業の振興	担当班		畜産班	E		画	□ 定住自立圏共生ビジョン
施策体系	施策の展開	1	農畜産物の生産振興	開始年度		平成27年	度			☑ 過疎地域持続的発展計画
אולידיו	戦略事業名	4	畜産競争力強化対策整備事業	根拠法令	旭市袖	甫助金等?	交付規則			□ R4主要事業

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

地域農業の核である畜産の生産基盤の確保及び国際競争力強化のため、地域の畜産関係者が連携して作成する地域全体の収益力を向上させる計画・目標達成のための取組について、中心的な役割を担う畜産経営体等の施設等を整備する取組を支援することにより、地域の畜産の収益性の向上及び地域 全体の活性化を図る。

【対象事業】地域畜産業の収益力を向上させる取組に沿った施設整備

【補助対象】中心的な畜産経営体 【補助率】1/2以内(国:県:市=1:0:0)

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

経営規模の拡大・コスト削減等の取組を支援すべく平成27年度から事業 開始し、27年度は肉牛農家1件が事業実施した。

現在、畜産を取り巻く状況は厳しいものであり、農家戸数や飼養頭数の減少な ど畜産の生産基盤の弱体化が懸念されている。

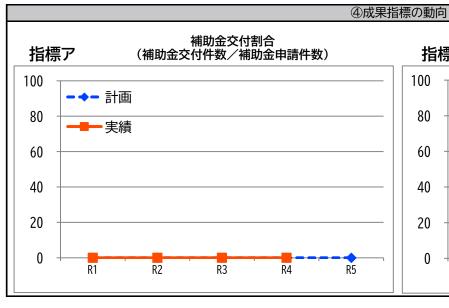
地域の肉牛農家からは、肉牛生産基盤の強化及び県産肉牛の増産につながる 取組になったという評価があった。

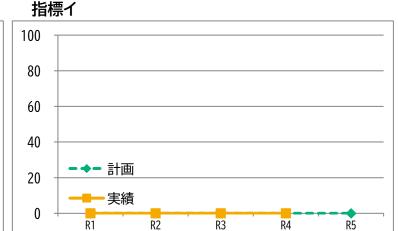
④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

	9		ا ب ر	H190 C A : 00010)			
事業活動	提供する モノやサービス	成果		施策の展開	基本施策		基本目標
音産経営体施設の整 精費用に対し助成を 「 ける	審産経営体等の施設 等を整備する取り組 みに補助金を交付す	➡ <mark>施設等の整備により収益力</mark> が向上		農畜産物の生 産振興	➡ 農水産業の振 興	⇒	魅力ある雇用 を創出し、安 心して働ける まちづくり

畜 備す

(2)活動と成果の状況											
① R4の主な活動や実績	 ⇒	2	活動指標		単位		R1	R2	R3	R4	R5
整備した施設の確認検査		ア	補助金申請件数		件	計画実績	0	0	0	0	0
			1104711 XX				0	0	0	0	
		イ				計画実績					
						実 績					
	1 7	₽									
	ll	3	成果指標	方向性	単位	Ш	R1	R2	R3	R4	R5
			補助金交付割合(補助金交付件数	方向性		計画	R1 0.0	R2 0.0	R3 0.0	0.0	R5 0.0
			補助金交付割合(補助金交付件数 /補助金申請件数)	方向性	%	計画実績					
			補助金交付割合(補助金交付件数 /補助金申請件数)	1	%	計画実績計画実績	0.0	0.0	0.0	0.0	





(3)コストの状況						单位:千円)	
	事務事業費		R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	② 従事職員数
	1. 畜産競争力強化対策整	盛備事業補助		0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	常時 1 人
書			0	0	0	0	0	常時 <mark> l </mark> 人
費目内訳			0	0	0	0	0	
꿃				Ŭ		Ü	0	
訳								最大 <mark> 3 </mark> 人 × <mark> 30 </mark> 日 = 延べ 90 人
 								
	0.51							
	合計		0	0	0	0	0	
	国·県支出	金	0	0	0			
財源内訳	地方債		0	0	0			
源	その他		0	0	0			
办	一般財源	1	0	0	0	0	0	
趴			U	U	U	U	U	1
	一般財源の比	七举						
			③ 各費目の詞	詳細(R4決算)			⑤ R3→R4 増減理由
1.落	產競争力強化対策整備	事業補助				る補助		
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		Д Д , Д/			11.4.74		
		(,	④ 特定財源の	詳細(R4決算	重)			
F	国·県支出金 <mark>畜産</mark> 競		化対策整備事		Τ/			
Ŀ		况于///黑	11.20 來證備事	未開助並				
	地方債							
	その他							
<i>(</i>	\ 古 を古₩!=88→	フ=亚/ Ⅲ						
(4	.)事務事業に関す	る評価				/\ \ /\ \ /	!> ₹===	
		判定				分析(好个調の要	因や対策について)
			事業実施	施希望者がい	なかった。			
		1						
	★************************************	-	-)					
\cup	事務事業の進捗							
		_						
		/ = :t	I					
		停港	।					
			 判定				公析(亦動の	り要因や対策について)
			+1)AE	事業実施希望	月上がいくか		カ1川(夂到)	フ女四 アジスに ファイ
			45	事業 美 他 布	至有かいな	がつた。		
			202					
		指標ア						
		コロリホノ						
			14. 14.					
			伸び悩み					
2	成果指標の推移							
	(R3→R4)		判定				分析(変動の)要因や対策について)
		七 西ノ						
		指標イ						
		判定	, <u> </u>	方針				判定・方針の詳細
		刊走	-	刀虾	444	本の四半し	古し T ovin	
					地域の音	産の収益力	「門上及び地	1域全体の活性化を図るため、今後も継続としたい。
C.	3) 今後の方向性							
((①・②を踏まえた							
F	1) (1) (2) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	継続到	 施 					

== **	事業コード・コルル 本产理・キュルル			予算科目	会計	款	項	目		☑ 総合戦略
	ミコート・ 8事業名	24240	畜産環境フレッシュ事業	J'#M'C	一般	6	1	_	掲	
7137	7 开 不 口			所管課		農水産	課		載計	□ 新市建設計画
+	基本施策	1	農水産業の振興	担当班		畜産班	E		圖画	□ 定住自立圏共生ビジョン
施策体系		2	安定した農業経営の推進	開始年度		令和元年	度			☑ 過疎地域持続的発展計画
PTVIN	戦略事業名	12	畜産環境フレッシュ事業	根拠法令	旭市神	前助金交 /	付規則等	i .		☑ R4主要事業

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

市独自の事業として、自主的に臭気対策に取り組む畜産農家を支援するために、臭気軽減効果のある飼料添加剤等及び臭気拡散防止資材等の導入を助 成する。

飼料添加剤等 2/3以内(上限30万円) 臭気拡散防止資材等 2/3以内(上限150万円) 補助率 飼料添加剤等

②開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

本市の畜産業は全国トップクラスの算出額を誇っている重要な部門であ り、畜産農家の生産販売力や経営力の強化を図る必要がある。しかしな がら、畜産由来の臭気については、住環境や本市のイメージに直結する問 題にもなっているため、近隣住民等の理解を得られるよう軽減させていく が多く、取り組み件数が伸び悩んでいる。 ことが極めて重要である。

そこで、令和元年度から令和3年度に市内養豚農家協力の下、実証実験 を実施し、令和4年度から正式に事業化した。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

市内には畜産農場が多数存在し、密集しており、住宅地の近接化も進んでい

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

		o Finfinition de la company (Fin	C 11110 (A (A (A (A (A (A (A (A (A (
事業活動	提供する モノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
畜産由来の臭気軽減 資材の導入費用に対 する助成制度を作る	市内畜産農家に補助 金を交付する	⇒ 臭気対策に取り組む市内畜 産農家の負担が軽減される	⇒ 安定した農業 経営の推進	⇒ 農水産業の振 😝 興	魅力ある雇用 を創出し、安 心して働ける まちづくり

④成果指標の動向

(2)活動と成果の状況 ① R4の主な活動や実績

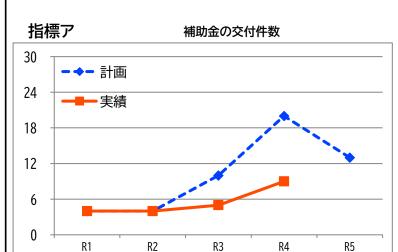
・事業説明会の実施

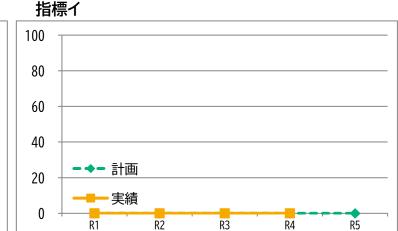
市内全畜産農家へ案内通知を送付

・補助金の交付









(3) 🗆	ストの状況						(単	位:千円)	
① 事務	事業費		F	R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	② 従事職員数
1. 1.	負担金補助及び	び交付金		1,062	3, 326	3, 281	3,760	7,500	
				0	0	0	0	0	
費				0	0	0	0	0	
				0	0	0	0	0	
費 目 内 訳									最大 人 × 日 = 延べ 人
	合計			1,062	3, 326	3, 281	3,760	7,500	
	国·県支出			0	0	0	0	0	
財 源 内	地方債			0	0	0	0	0	
	その他			0	0	0	0	0	
訳	一般財源			1,062	3, 326	3, 281	3,760	7,500	
	一般財源の	北率		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
			③ 各	・書日の言	详細(R4決算	ī)			⑤ R3→R4 増減理由
1.1.負担	且金補助及び交 [∞]	付金			レッシュ事				申請件数が増えたため。
1.1.241		11772	ш/	王-水-儿 /	* > * - 4	N 1111003 312			1 4311 3000 - 4707 - 700 - 700
			3 d ± =		=\\\\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\	- /- \			
	±11.0	(4) 特点	ビ財源の	詳細(R4決	算)			
	支出金 <u> </u> 方債								
	<u>ク領</u> の他								
()	77 E								
(4)事	務事業に関す						015/1		
		判定			ケーザンマトハ	24.) 1 √√√ 22.			因や対策について)
				19月末十1四个	合局騰により	敢しい栓宮	と強いられて	いる展家が	i多く、申請件数が伸びなかった。
		(=:							
① 事務	勝事業の進捗								
		•							
		停港	#						
		13 //							
			\	判定					の要因や対策について)
				NE N	新規事業と	して市内全部	畜産農家へ広 されなかった。	く周知した	ことで、令和3年度より交付件数を伸ばすことができたが、
			(計画してい	2件致には店	量かなかった。		
		指標ア	Q	11					
				**					
			伸7	が悩み					
② 成5			1) IMOV					
(R	(3→R4)		#	判定			5	計(変動の	の要因や対策について)
		指標イ							
		判定	2		方針				判定・方針の詳細
									メージアップ、畜産経営の推進を図るため、事業説明会の
③ 今	後の方向性					開催や第	内囲知を送	寸し、取り剤	且み農家件数を増やしていく。
(1).2	のを踏まえた	日本			+++				
R5以	人降の方針)	見直	U		拡大				

	ミコード・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	24500	土地改良施設等維持管理負担金	予算科目	会計 一般				掲	☑ 総合戦略 □ 国土強靱化地域計画
3-37	7.子水口			所管課		農水産	課		載計	□ 新市建設計画
+/- ^-	基本施策	1	農水産業の振興	担当班	農	業基盤整	備班		画	□ 定住自立圏共生ビジョン
施策体系		2	安定した農業経営の推進	開始年度		不詳				☑ 過疎地域持続的発展計画
PTVIN	戦略事業名	15	土地改良施設等維持管理	根拠法令		なし				□ R4主要事業

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

土地改良事業等実施により整備した施設の管理は、複雑かつ高度な管理が必要となっているうえ、農業用排水路は地域排水の機能を有していることから、適正な維持管理を行うための費用の一部を負担金又は助成金として助成し、農家負担を軽減し、農業経営の安定化を図る。

【負担金】①大利根土地改良区排水負担金、②大利根用水新川排水機場維持管理費負担金、③国営造成施設管理体制整備促進事業負担金、④新宿機場維持管理費負担金、⑤土地改良施設維持管理適正化事業負担金、⑥干潟土地改良区排水負担金、⑦風永川排水機場管理協議会負担金【助成金】①水資源機構施設管理助成金、②北総東部土地改良区基幹施設更新補助金、③北総東部土地改良区畑作振興冬期用水助成金、④北総東部土地改良区維持管理事業助成金、⑤東総用水土地改良区維持管理事業助成金

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

大利根土地改良区排水負担金は、昭和46年度より負担し、干潟土地改良区排水負担金は、平成12年度より負担しているが、その他については不詳。

負担金等の金額は、年々増加傾向にある。 意見要望はなし。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

	4	/	中が手来の日的C1位目1017(日で	日田しているのかり			
事業活動	提供する モノやサービス		成果	施策の展開		基本施策	基本目標
土地改良施設維持管理費用の一部について負担又は助成を行う	土地改良区へ負担金 等を交付する	→		安定した農業 経営の推進	⇒	農水産業の振 興	魅力ある雇用 を創出し、安 心して働ける まちづくり

(2)活動と成果の状況 ① R4の主な活動や実績

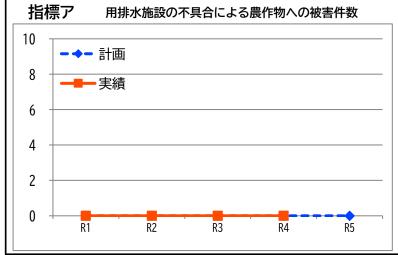
① R4の主な活動や実績 【土地改良施設維持管理費用の一部について負 担又は助成を行う】

国営造成施設の管理負担金、各土地改良区への 農用外排水負担金や維持管理助成金等を交付

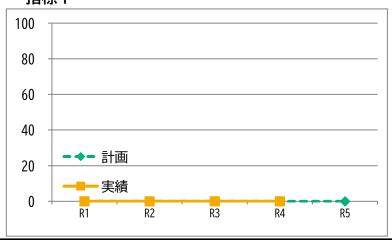
7 2) 活動指標	単位		R1	R2	R3	R4	R5
) 負担金件数	件	計画	9	9	9	9	9
	克坦亚 什数		実績	10	9	9	9	
	助成金件数	件	計画	5	5	5	5	5
1	以 风壶 计数		実績	5	5	5	5	
J								

•	•			_					
3	成果指標	方向性	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ア	用排水施設の不具合による農作	1	<i>/</i> /	盐画	0	0	0	0	0
,	物への被害件数	減らす	Ŀ	実績	0	0	0	0	
1				計画					
7				実績					

④成果指標の動向







	3)コストの状況						<u> 单位:千円)</u>				
(1	事務事業費		R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	② 従事職員数			
	1. 負担金		46, 203	,	43, 057		42, 498				
	2. 維持管理助成金		15, 154	14,950	16,585 0	20, 226	31,802	常時 <mark> 1 </mark> 人			
費目内訴			0	0	0						
뷶			0	U	U						
訴	-							最大 人 × 日 三 延べ 人			
	合計		61,357	58, 245	59,642	63, 441	74, 300				
	国・県支出	 金	01, 337	0	0	00, 441	0				
貶	地方債	<u> </u>	0	0	0	0	0				
源	その他		0		0	0	0				
則 源 内 訴	一般財源	į	61,357	58, 245	59,642	63, 441	74, 300				
D)	一般財源の		100.0%		100.0%	100.0%	100.0%				
Ξ											
		(③ 各費目の記					⑤ R3→R4 増減理由			
	.負担金			潟土地改良				2.維持管理助成金			
2	.維持管理助成金		東総用水・	北総東部施	設維持管理	助成金外		土地改良施設維持管理適正化事業補助金の新設により増			
								ラ 相			
H		<u> </u>	対定財源の	=¥細/D/\汰1	雪 \						
	国·県支出金	4	/ 付处别/kV/	計削(N4次)	异/						
	地方債										
	その他										
_		_									
_	4)事務事業に関す					N± /	わて出るま				
		判定	六八市区	タについて泄	ロセンノ、生みん		好个調の安日	因や対策について)			
			父刊争机	務について滞りなく進められている。 							
		,)									
(① 事務事業の進捗										
		順調									
		門大田門									
			判定					要因や対策について)			
			43	概ね適切に	維持管理さ	れており、農	作物への被害	書は確認されていない。			
			(60° 2)								
		指標ア	10								
			11								
			九二三田公仕七二	子調維持							
(2	②成果指標の推移		灯间难付								
	(R3→R4)		判定			:	分析(変動の	要因や対策について)			
		指標イ									
		判定		方針							
					土地改良	良施設の適切	な維持管理	は、農業生産の維持・発展のほか、防災や環境保全の点で			
	③ 今後の方向性				も重要で	であり、市民の)生活を守る	ために必要であると判断した。			
	③ っ後の方向性 (①・②を踏まえた	And a dealer									
	R5以降の方針)	継続実	施								

事業	(コード・	24400	曲光甘如志/共志光		会計	款項目			☑ 総合戦略	
	事業名	24600	農業基盤整備事業	元经無	一般 6 1 5			_	掲載	
				所管課 農水産課					-計	☑ 新市建設計画
+/	基本施策	1	農水産業の振興	担当班	農業基盤整備班				画	□ 定住自立圏共生ビジョン
施策体系		2	安定した農業経営の推進	開始年度	不詳				等	☑ 過疎地域持続的発展計画
PTVIN	戦略事業名	14	14 農業基盤整備事業		土地改良法及び旭市県営土地改良事業分担金徴収条例				□ R4主要事業	

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

土地改良事業に対する市の負担金の支払い。土地改良事業は、小区画で用排水路が整備されていないほ場を大区画化汎用化し、地域の担い手に農用地 を集積することで、効率的で安定した農業経営を促進する事業であり、国・県・市・土地改良区・地元でそれぞれ事業費を負担し、事業を推進していく。

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

ほ場整備事業については、昭和40年代に入り積極的に整備を進めてお り、地域営農の大区画化・効率化を図っている。

今後は、未整備地区の整備に加え、昭和30年代までに行われた小規模な整理 区域についても再整備を取り組んでいく必要がある。

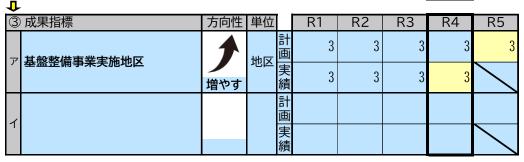
土地改良事業の推進にあたっては、地域の合意・協力の上で行政及び土地改良 区とが一丸となって取り組んでいく必要があることから、市にも応分の負担が求 められている。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

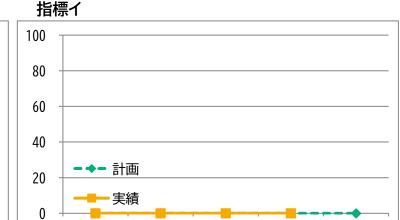
提供する 事業活動 成果 基本施策 基本目標 施策の展開 モノやサービス 魅力ある雇用 農水産業の振→ を創出し、安 ₽ 興 心して働ける ることで営農環境が改善す まちづくり

(2)活動と成果の状況 ① R4の主な活動や実績 【農地整備事業等の費用負担・助成を行う】 経営体育成基盤整備事業負担金 春海地区 豊和地区 飯岡西部地区

⇒ [2	活動指標	単位		R1	R2	R3	R4	R5
	님	基盤整備事業負担金額	千円	画型	80, 242	77,527	62, 264	41,643	37,641
	,	举监定佣争未只 卫亚积		実績	94,651	59,362	31, 115	37,994	
	1			計画					
	7			実績					



④成果指標の動向 指標ア 基盤整備事業実施地区 10 - -- 計画 8 ━ 実績 6 4 2 0



R5

R2

(3)コストの状況					道)	单位:千円)				
	事務事業費		R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	② 従事職員数			
	1. 経営体育成基盤整備	事業負担金	64,990	29,655	14, 494	16, 905	6,300				
	2. 広域農業基盤緊急整備促	進事業負担金	29,661	29, 707	16,621	21,089	31, 341	ent 1 L			
建	3. 経営体育成基盤整備事業	促進費補助金	0	0	0	0	210,625	常時 <mark> 1 </mark> 人			
F	4. 千葉県施行工事負	担金	0	0	0	0	0				
巨卢訓	1 / >/>////////////////////////////////	,,			Ť						
討	7							最大 <mark> 人 × 日 = 延べ 人</mark>			
	合計		94,651	59, 362	31, 115	37, 994	248, 266				
H	国・県支出金		94,031								
8		7	•	0	0	0	210,625				
貝源 	地方債		87, 200		27,600	35, 700	36,800				
Þ	その他		0	0	0 515	0 004	0.41				
彭	一般財源	. ==	7,451	6,662	3,515	2, 294	841				
	一般財源の比	逐	7.9%	11.2%	11.3%	6.0%	0.3%				
		<u>(3)</u>	久费日の計	詳細(R4決算	`\			⑤ R3→R4 増減理由			
1	.経営体育成基盤整備事			岡西部地区				事業費増に伴う負担金の増額による			
		-						事来負担に付け負担並の相傾による			
	.広域農業基盤緊急整備促進		1担金(有	海地区・豊	阳地区)						
_	.経営体育成基盤整備事業促										
4	.千葉県施行工事負担会	金									
		④ 特	定財源の	詳細(R4決算	拿)						
	国·県支出金										
	地方債 農業基	盤整備事業	債								
	その他										
_	1/声攻声类に関ナ2	z =亚/亚						•			
4	4)事務事業に関する	S評恤 判定	7			分析(な不到の更	因や対策について)			
	_	†'JAE	台 切之(0字打しが溝	りなく行わり			ては協議を行い根拠を確認している。			
			対に立い	ノ又は、ハイ市	7,471147	1000000000000000000000000000000000000	旦倒にフィー				
		(, ,)									
(①事務事業の進捗										
		WZ-M									
		順調									
Н			判定				分析(変動の)要因や対策について)			
			Su .	3地区ともに	前年度から			ついて、新規採択に向け推進活動を行っている。			
		4		0.2201	113 1 /2.0	лидиу а 1 с ау					
		1 N	604								
	-	指標ア									
			**								
		hZ.	調維持								
	② 成果指標の推移	l x1	可以作] 寸								
Ì	(R3→R4)		判定				分析(変動の)要因や対策について)			
		指標イ									
		ו אווארו									
		1711		<u> </u>				₩II宀 +ΔI ^= ¥¢⊞			
		判定		方針	审条书#	(動/出書学)	典型の生み	判定・方針の詳細			
					長美基型	A登偏事業は Rを負却する	、	性を向上するために必要不可欠な事業である。市で事業 地元農業者の負担額を軽減し、事業の早期完了を図る。ま			
	③ 今後の方向性 ①・②を踏まえた (wystant)				た夕地	区の役員会	生に参加し	型元晨乗有の負担額を軽減し、事業の早期元」を図る。ま 事業の進捗状況・課題点等の情報共有を図る。			
			. [/C/ 17/10	EVXX只不	→ V * 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1				
	R5以降の方針)	継続実施	<mark>} </mark>								

まちづくり

事業コード・事務事業名		24700 農業水利施設改修事業		予算科目	会計 款 項 目 一般 6 1 5		掲	☑ 総合戦略 □ 国土強靱化地域計画		
				所管課 農水産課						□ 新市建設計画
+1-1-1-1-1-1	基本施策	1	農水産業の振興	担当班	農	農業基盤整備班				□ 定住自立圏共生ビジョン
施策体系		2	安定した農業経営の推進	開始年度	不詳				等	☑ 過疎地域持続的発展計画
PAN	戦略事業名	16	農業水利施設改修事業	根拠法令	土地改良法·旭市農業用用排水路改修事業補助金交付要綱					☑ R4主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

・老朽化した農業用用排水路の改修や施設の長寿命化に取り組む団体に対する補助金の支払い。 旭市農業用用排水路改修事業補助金交付要綱において、工作物による改修で農業用用排水路改修事業のうち土地改良区で承認したものとし、補助率は事業費の20%以内とする。

・市が所有・管理する農業用用排水路などの改修工事を実施する。

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

・水利施設の損傷による災害等の防止のため、市が水利施設の改修を行

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

・老朽化した農業用用排水路の改修や施設の長寿命化に対する地元負担 の軽減のため補助金を交付

- ・震災により、被災は受けたが災害復旧事業の適用を受けられない事業のた め、国が様々な補助事業を創設。
- ・地元負担の軽減のため、市への更なる支援要望がある
- ・地域排水路としての機能も有しているため、土地改良区や地元農業者から、行 政にも応分の負担が求められている。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか) 提供する 成果 基本施策 基本目標 施策の展開 モノやサービス 魅力ある雇用 ・水利組合等に補助金 を交付する ・農業用用排水路を改 持される 安定した農業 経営の推進 ⇒ 農水産業の振 ⇒ を創出し、安 を交付する 心して働ける

事業活動

農業用用排水路の改

農業用用排水路の改

修工事を発注する

修に関する補助金申

請を募集する

(2)活動と成果の状況 ① R4の主な活動や実績 【農業用用排水路の改修に関する補助金申請を 募集する】

修する

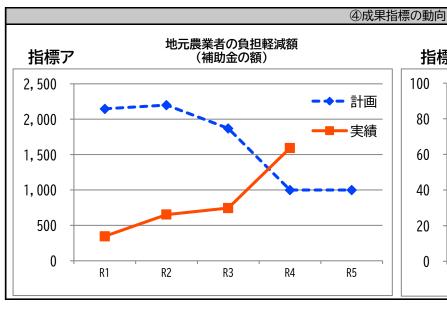
申請8件 交付額1,593千円

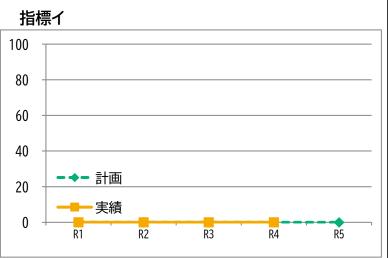
事業(長寿命化対策)

【農業用用排水路の改修工事を発注する】 玉浦川地区排水路補修工事(飯岡地先) 国庫補助事業:農業水路等長寿命化·防災減災

→ ②) 活動指標	単位		R1	R2	R3	R4	R5
_	補助金交付件数		計画	17	10	10	10	10
	州の並入り下数		実績	8	7	10	8	
			計画					
			実績					
J								

. •					_				
3	成果指標	方向性	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ア	地元農業者の負担軽減額	1	4四	計画	2, 146	2, 200	1,870	1,000	1,000
	(補助金の額)	増やす	117	実績	347	653	745	1,593	
1				計画					
-1				実績					





(=	3)コストの状況				(单位:千円)	
	事務事業費	R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	② 従事職員数
	1. 仁玉川改修事業負担金	5, 484	0	0		0	© Inc Juston
	2. 用水施設改修事業負担金	5, 427	891	2,757	0	0	-45n+ 1 L
費	3. 農業用用排水路工事補助金	347	653	745	1,593	1,000	常時 <mark>] </mark> 人
目	4. 農業水路等長寿命化·防災減災事業	0	0	3,740	22,709	66,792	
目内訳							最大 人× 日 = 延べ 人
訳							
	合計	11,258	1,544	7,242		67,792	
B→	国·県支出金	0	0	2,393	10, 208	41,658	
沪	地方債	3, 100	0	0		22,600	
財源内訳	その他	0	0	0	0	0	
訳	一般財源	8, 158	1,544	4,849	11,094	3,534	
	一般財源の比率	72.5%	100.0%	67.0%	45. 7%	5. 2%	
	3	各費目の試	詳細(R4決算	Į)			⑤ R3→R4 増減理由
1.	二玉川改修事業負担金	基幹水利施設	没ストックマ	ネジメント	事業における	市の負担分	3. 農業用用排水路工事補助金
2.	用水施設改修事業負担金	地域農業水利	施設ストック	マネジメント	事業における	市の負担分	申請額の増
3.	農業用用排水路工事補助金	農業者団体が	ぶ行う農業用担	非水路改修に	要した経費に	対する補助	4. 農業水路等長寿命化・防災減災事業 玉浦川地区排水路補修工事実施による事業費の増
4.)	農業水路等長寿命化·防災減災事業	農業水利施	設の長寿命	化対策対策	賃等にかかる	経費	立個川地区が小町間 三甲大旭による甲未員の項
			-V// 4 > 1				
<u> </u>	-	特定財源の	詳細(R4決	算)			
l	国·県支出金	F = 114					
	地方債農業水利施設改修	多事業 債					
	その他						
(4)事務事業に関す <u>る評価</u>						
	判定						因や対策について)
		·補助金	申請額は、オ	く利インフラ	の老朽化に作	半い増加傾向]にある。
	(
1	事務事業の進捗						
	WIX-E						
	順調						
		判定				分析(変動の)要因や対策について)
		NY			事業補助金に		を上回る額の申請があり、水利施設の適切な維持管理に
		200	貢献している	ると考えられ	る。		
	指標ア						
	10 137	THE REPORT OF THE PARTY OF THE					

分析(変動の要因や対策について)

判定・方針の詳細 今後インフラの老朽化がさらに進むことから、改修が必要な施設は年々増加すると考えられる。農家の負担を軽減し適切な維持管理を奨励することが市全体の利益になると判断した。

指標イ

判定

継続実施

② 成果指標の推移 (R3→R4)

③ 今後の方向性 (①・②を踏まえた R5以降の方針)

好調維持

判定

方針

事業コード・ 事務事業名		24800	24800 田園環境保全事業		予算科目 会計 款 一般 6		項 1	目 5	掲	☑ 総合戦略 □ 国土強靱化地域計画
3 717	力于未石			所管課		農水産		載	□ 新市建設計画	
+	基本施策	22							画	□ 定住自立圏共生ビジョン
施策体系		45	自然環境の保全	開始年度	平成14年度				等	
PTVIN	戦略事業名	200	田園環境保全事業	根拠法令	旭市補助金等交付規則					□ R4主要事業

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

●水稲転作事業の一環としての土地利用を推進することにより、農地及び田園環境の保全を図り憩いの場を提供することを目的とする。具体的には河津 桜や菜の花等を転作田にて栽培し、ただ単に水稲の生産調整としての緩衝地としてではなく、景色を楽しめるようにする。景観を楽しめるよう、草刈やゴミ 拾い等を該当圃場にて行う結果として、耕作放棄地等の発生を防ぐことが出来る。市としての関与は上記事業の実施主体に対して活動経費の一部(概ね 事業費の半分程度)を定額で補助する。

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

主食用米の生産調整に際して、条件の悪い水田圃場にて景観形成作物を 栽培することで、主食用米の生産調整及び、農地の適正管理を促し、田園 環境の保全及び地区住民の共同利益を増進することを目的として活動を 開始したものと推測される(平成14年頃)。

平成17年の合併を経た状況においても、当事業の実施主体が旧海上地区にの み存在する状況となってしまっている。

活動の内容に関しては景観形成作物の栽培だけでなく、事業主体は圃場周辺 の環境整備に関しても継続的かつ発展的に活動に取り組んでいる。 当該活動は農地の適正管理に貢献しており、地区内では初夏に蛍の鑑賞を出来るほど良好な環境をつくることに貢献できている(住民)

事業の活動の中で、崖の崩落時の土砂の撤去等、費用のかかる事業を行う場 面があり、活動を継続していく上で補助金は必要不可欠である(事業実施団体)

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

提供する 事業活動 成果 施策の展開 基本施策 基本目標 モノやサービス ひとの定着・ 遊休農地化を防ぎ、当該地 還流・移住の 区を訪れた人たちが景観を 楽しめるような田園風景を → 自然環境の保 → 自然環境の保 → 田園環境を保全する ☆ 蛇園出清水管理組合 ための補助事業をつ 流れをつく へ補助金を交付する 全 全 構成するような農地・地区 くる り、人々が集 になる。 うまちづくり

④成果指標の動向

(2)活動と成果の状況

① R4の主な活動や実績 蛇園出清水管理組合へ補助金を交付 崖の崩落時の土砂撤去や景観作物の作付が行わ れ、田園環境が維持されただけでなく、祭り自体 の開催はされなかったがコスモスの観覧をしに多 くの人が訪れた。

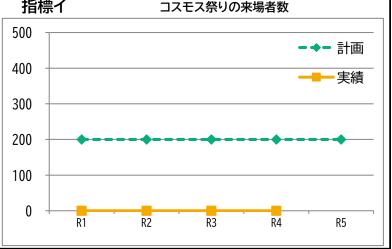
2) 活動指標		単位		R1	R2	R3	R4	R5
ア	ア事業実施団体数				1	1	1	1	1
	事未入 他回件数		団体	実績	1	1	1	1	
_				計画					
1				実績					
<u></u>		I							
3	成果指標	方向性	単位		R1	R2	R3	R4	R5
7	 当事業を活用し景観形成作物を	1	ha	計画	5	5	5	4	4

栽培している面積 4 4 績 増やす 200 200 200 200 200 イコスモス祭りの来場者数 実績 0 0 増やす

当事業を活用し景観形成作物を栽培している面積

指標ア 10 --- 計画 8 **──**実績 6 4 2 0 R4 R5

指標イ



(3	3)コストの状況				_	<u>(È</u>	单位:千円)	
1	事務事業費		R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	② 従事職員数
	1. 田園環境保全事業	業補助金	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
			0	0	1,000	1,000	1,000	
			0	0	0			常時 1 人
費目内訳					0			
則			0	0	0			
内								最大 人× 日=延べ 人
訳								最大 <mark> </mark>
l	合計		1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
Н		<u> </u>					1,000	
B J	国·県支出	<u> </u>	0	0	0	0	0	
財源内訳	地方債		0	0	0	0	0	
広	その他		0	0	0	0	0	
訳	一般財源	į	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
עם	一般財源の比	北率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	132713 11131-02	-0 1	1001070	10010/0	1001070	1001 070	1001070	
			③ 各費目の評	詳細(R4)	')			⑤ R3→R4 増減理由
1 1	田園環境保全事業補							● バン バイ 海が主田
1.	口图垛児休王尹耒州	助並	北国田侗小	:管理組合1,(
				=+vm/D 4>+ 5	★ \			
		(2	り特定財源の	計細(K4次身	早 <i>)</i>			
	国·県支出金							
	地方債							
	その他							
	- · IO							
(4	.)事務事業に関す	る評価						
		判定	'			分析(好不調の要	因や対策について)
		13/		尾施主体の申	請支援を行		(/5 1/5	,
			111100	CUETT LAGALIA	10/1/2013	1 2700		
			.)					
1	事務事業の進捗		//					
·	3,33,33,44,232							
		概ね順	調					
		100100	(Mrs					
			判定				分析(変動 σ)要因や対策について)
				昨年と変わら	ない担模の			
			73	··· 十乙交47%		NHT111 V . C C		
			Co 2 M					
		指標ア						
		3 H 13.7						
		-						
			好調維持					
2	成果指標の推移		~? 바라마다1기					
	(R3→R4)		判定				分析(変動の)要因や対策について)
	(1,0 1,1)			新刑コロナビ	7イルス 成分			は中止となったが、のぼりの設置が行われ、コスモスの観覧
				が 全コロノフ に多くの人か		571E3/A/\P/J 11	こにより赤りに	ま中止となったが、がなりが、政直が当りが、コハモハの競見
				(0)	-D/14 0/ C o			
		指標イ	7,0					
		יאוווני						
		-						
			伸び悩み					
		判定		方針				判定・方針の詳細
		十小人		ノリルー		れんなはざ		訪れた人たちが景観を楽しめるような田園風景を構成する
						と記を防さ、		が、ハインのが京戦で来しめるよりな中国風雨を構成する
(3) 今後の方向性				ためり、ラ	及び胚就し	天旭りる。	
	①・②を踏まえた	الماداد وادادا	-16					
	R5以降の方針)	継続美	[他					

事業コード・事務事業名		25000 多面的機能発揮促進事業		予算科目·	会計 款 項 目 一般 6 1 5			掲	☑ 総合戦略 □ 国土強靱化地域計画	
争你	争未在			所管課		農水産		載計	□ 新市建設計画	
+	基本施策	1	農水産業の振興	担当班	農業基盤整備班					□ 定住自立圏共生ビジョン
施策体系	施策の展開	2	安定した農業経営の推進	開始年度	平成19年度				画等	☑ 過疎地域持続的発展計画
אולידיו	戦略事業名	13	多面的機能発揮促進事業	根拠法令	多面的機能支払交付金実施要綱外					□ R4主要事業

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

農業・農村は、食料の生産、自然環境の保全、良好な景観形成など様々な機能(以下「多面的機能」)を持っている。近年、高齢化などによる集落機能の低 下により、共同活動により支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつある。また、共同活動の困難化に伴い、農用地・水路・農道などの地域資源 の保全管理に対する担い手農家の負担も増加しつつある。

この事業は、多面的機能を維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進するとともに、担い手農家の 負担を軽減することで農地の集積による安定した農業経営を推進するものである。

水路・農道の草刈りなどの基礎的な保全活動や、施設の軽微な補修、植栽などの景観形成、遊休農地の有効活用などの活動に取り組む組織(以下「活動 組織」)に対して交付金を交付する

交付金の額は、活動組織が保全管理する区域内の農用地面積に応じて算出し、国50%、県25%、市25%の割合で負担している。

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

土地改良事業完成後の維持管理を目的に、平成19年度に第1期が始まり、平成23年度に終了した。平成24年度からは8団体が活動に取り組 み、その後も順調に団体数は増加し、令和4年度末時点で15団体が活動 に取り組んでいる。

農業者を中心とした組織形成と保全管理意識の向上を目的として始められた が、非農家にも浸透してきていると思われる。地域内の情報交換の場となり、担 い手への集積につながるケースも出てきている。

担い手農家の高齢化や環境意識の高まりなどによりニーズは高まっているも のとみられ、事業未実施の地区からも、事業内容について説明を求められるこ とがある。

事業開始当初から活動している組織などで、構成員の高齢化や役員の後継者 不足などの問題が生じてきている。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

		, 1,133 1,514 E. 13 E.E. 13 1, (13	<u>- надечи е или</u>		
事業活動	提供する モノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
農用地等の保全活動 を支援する。	農用地等の保全管理 ➡ を行う活動組織に交 付金を交付する。	・農業農村の有する多面的 機能の発揮が促進される。 ・担い手農家への農地集積 を後押しする。	→ 安定した農業 経営の推進	→ 農水産業の振 _号 興	魅力ある雇用 を創出し、安 心して働ける まちづくり

(2)活動と成果の状況 ① R4の主な活動や実績

【農用地等の保全活動を支援する。】

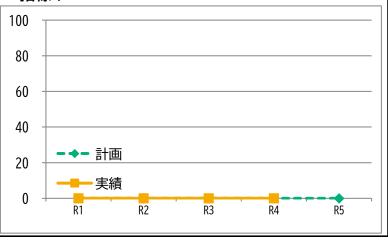
- ●活動組織の事業計画の認定。 ●活動組織への交付金の交付。
- ●活動組織の事業実施状況の確認。
- ●ホームページ等による事業の周知。
- ●活動組織の設立の支援。

2	活動指標	単位		R1	R2	R3	R4	R5
7	活動組織数		計画	13	14	15	15	16
	冶到和树奴	組織	実績	13	14	15	15	
1			計画					
1			実績					

_				_	_				
3	成果指標	方向性	単位		R1	R2	R3	R4	R5
ア	活動組織が保全管理する農用地	1		計画	186, 543	199, 905	212,530	211, 129	223, 497
,	面積	増やす	а	実績	186,306	199,043	211, 129	210,787	
1				計画					
1				実績					

④成果指標の動向 指標ア 活動組織が保全管理する農用地面積 250,000 200,000 150,000 100,000 - - - 計画 50,000 実績 0





(;	3)コストの状況					<u>i</u>)	単位:千円)	
1	事務事業費		R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	② 従事職員数
	1. 負担金補助及びる	交付金	71,859	74, 197	77,528	77, 254	80,728	
	2. 需用費		0	v	0	v	0	常時 1 人
費	3. 委託料		2,772	2,871	3,003	3,014	3,520	
自	4. 旅費		0	0	0	0	0	
内	4. 旅費							最大 人× 日=延べ 人
訳								最大 <mark> </mark> 人 ×
	合計		74,631	77,068	80,531	80, 268	84, 248	
	国·県支出	金	55, 212	56, 943	59,646	59,676	64,065	
財	地方債		0	0	0	0	0	
源内訳	その他		0	U	0	v	0	
訳	一般財源		19,419	20, 125	20,885	20, 592	20, 183	
	一般財源のよ	比率	26.0%	26.1%	25.9%	25.7%	24.0%	
			③ 各費目の記					⑤ R3→R4 増減理由
	負担金補助及び交付	金	多面的機能	支払交付金				1.負担金補助及び交付金 微減
	需用費							3.委託料 微增
	委託料		現地調査委	託料				
4.	旅費							
				=\(\daggeright) = \(\daggeright) = \(\dag				
			特定財源の	詳細(R4決	算)			
		内機能支払	交付金					
	地方債							
	その他							
(4)事務事業に関す	ス証価						
Τ,	+/尹勿尹未に以り	判定				分析(な不調の要	因や対策について)
		13/1	平成2	9年度以降、	活動組織数			傾向である。令和4年度は1組織の設立の支援を行い、令
								トームページに事業を紹介するページを新設し、事業の周
ا ا	/ 市水市米の光北	(知の強化	とも図れてい	る。			
U)事務事業の進捗							
		順調						
		(IDADIO						
			判定)要因や対策について)
			A.S.		は新規組織	がなく、農地	の転用等に	より面積は減じているものの、減少した面積は僅かであっ
			200	た。				
		指標ア						
		3 H 1/3/ 2	77					
		3	好調維持					
()成果指標の推移 (R3→R4)		业100				△托/赤毛4	D. 声田や分字について/
	(K3→K4)		判定				万竹(変動))要因や対策について)
		指標イ						
		判定		方針				判定・方針の詳細
					効率的・	安定的な農	業経営を実現	見していくためには農地の集積集約は不可欠であるから、
,	③ A後の十点世				担い手農	農家の地域資	資源の保全管	理に係る負担を減らすための共同活動について支援する
	③ 今後の方向性 ①・②を踏まえた				必要があ	ある。		
	R5以降の方針)	継続実	施					
	ハンシャー・ノノリルー							

3.3% 3.5/4b i ima i i i i i i i i i i i i i i i i i										
# **	- I»				会計	款	項	目		☑ 総合戦略
事業コード・事務事業名		25050	耕作放棄地再生事業	予算科目	一般	6	-		掲載	
				所管課 農水産課						□ 新市建設計画
+//5/5	基本施策	1	農水産業の振興	担当班	農業基盤整備班					□ 定住自立圏共生ビジョン
施策体系		2	安定した農業経営の推進	開始年度						☑ 過疎地域持続的発展計画
PTVIN	戦略事業名	17	耕作放棄地再生事業	根拠法令						□ R4主要事業

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

耕作放棄地(荒れ地)が増加すると、イノシシ等の有害獣の住処や不法投棄の温床となり、農業生産や地域環境に悪影響を与えるおそれがある。 この事業は、耕作放棄地を借用または購入して再生する農業者を支援し、農業生産の維持及び農地の有効利用を図ることを目的とする。 耕作放棄地を作付可能な状態に再生する作業に係る費用の2分の1(10aあたり10万円まで)を助成する。

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

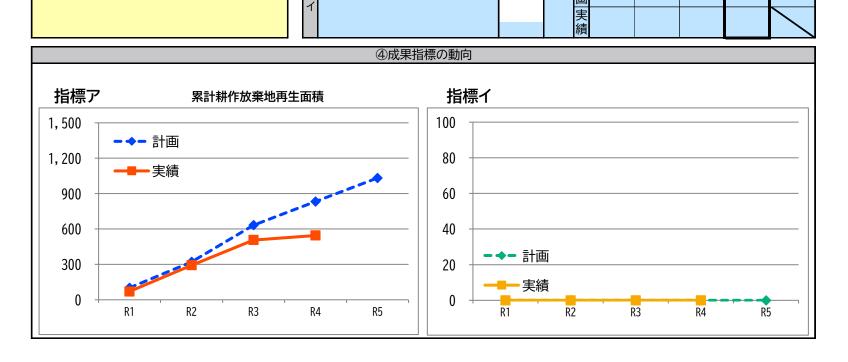
③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

実施の有無が農業者の意向に左右されるため、実績が安定しない。

耕作放棄地の増加に伴い、緊急対策として国庫補助事業が平成21年度 に創設され、本市では平成22年度から実施している。国庫補助事業が平 成30年度、国庫補助事業の終了に伴う県補助事業が令和3年度で終了 したが、耕作放棄地対策は継続して取り組む必要があるため、令和4年度 から市単独事業を実施している。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか) 提供する 事業活動 成果 基本施策 基本目標 施策の展開 モノやサービス 魅力ある雇用 耕作放棄地を再生す 安定した農業 経営の推進 → 農水産業の振 → 興 を創出し、安 耕作放棄地を再生す → る農業者に補助金を → 耕作放棄地が解消される る農業者を支援する 心して働ける 交付する まちづくり





_(3	3)コストの状況					<u>i</u>)	单位:千円)	
	事務事業費		R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	② 従事職員数
	1. 負担金補助及びる	交付金	717	4,514	3,869	348	2,000	
			0	0	0			常時 1 人
書			0	0	0			
費目内訳			0	0	0			
内								
訳								最大 <mark> </mark>
	合計		717	4,514	3,869	348	2,000	
H	国・県支出		359	2, 257	1,934	J10	2,000	
財	地方債	717	0	0	1, 334			
源	<u>地力損</u> その他		0	0	0			
財源内訳		<u> </u>	358	2, 257	1,935	348	2,000	
訳								
	一般財源の上	<u> </u>	49.9%	50.0%	50.0%	100.0%	100.0%	
			③ 各費目の評	É細(₽/1)沖管	1)			⑤ R3→R4 増減理由
1 4	負担金補助及び交付	全		再生事業補				当初予算で見込んでいた申請がなされなかったため。
1.5	ミュ旦 亚州 別 以 ひ 文 刊	立区	がボトルス果心	计工尹未們	別亚			コルナチで元だんでくって中間からされがあれていただめ。
				-V// 4 N I				
		(④ 特定財源の	詳細(R4決	算)			
E	国·県支出金							
	地方債							
	その他							
(4)事務事業に関す	ス証価						
$\stackrel{\sim}{\Box}$		判定	2			分析(好不調の要	因や対策について)
		NC I)交付申請書	や実績報告	書の作成を		E (NJACC) V · C /
) (13 HIJE	i i johniki	, H - > / / / C)(1)(C) (-0)	
		(00	,)					
(1)	事務事業の進捗							
		概ね』	古書田					
		ᆘᄵᅡᄺᆘ	只可					
			判定				分析(変動の	D要因や対策について)
			NG	当初予算で	見込んでい			生年度があるため、実績が伸び悩んでいる。
		北下一						
		指標ア						
			ጥጥ					
			伸び悩み					
2	成果指標の推移							
	(R3→R4)		判定				分析(変動の	り要因や対策について)
		指標イ						
		JUNK I						
		/17/1	11	 ^1				\/\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
		判定		方針	△※↓±	北北北安地へ	交 上 ドロ 17	判定・方針の詳細
					一	†作 放果地の	発生か見込	まれるため、本事業は継続して実施する必要がある。 は利用を促していく。
	③ 今後の方向性				成未日*	W) III III C IZ		24.11/11 G MEO C4 10
((①・②を踏まえた	継続写						
1 [35以降の方針)	「小江小りじつ	▼ルピ					

事業コード・事務事業名		25300	保安林植栽事業		会計 一般	款 6			掲	
				所管課		農水産	載計	☑ 新市建設計画		
+	基本施策	27	消防・防災力の強化	担当班	農	業基盤整	E備班		圖画	□ 定住自立圏共生ビジョン
施策体系		57	防災施設の整備	開始年度		平成24年	度		等	
PAVIN	戦略事業名 244 保安林植栽事業				該当なし			□ R4主要事業		

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

本市では、東日本大震災により海岸保安林が大きな被害を受け、森林機能の回復が課題となっている。 このため、保安林への植栽工事を実施するとともに地元小学生や保護者が参加する植樹会を開催している。

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

本市の保安林は大部分が海岸地帯に位置し、潮害や飛砂の防止機能を 発揮することが期待されている。

しかし、東日本大震災の津波により海岸保安林は大きな被害を受け、本 来の機能を十分に発揮することが難しい状況にあるため、保安林への植 栽工事を実施している。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

今後植栽した苗木が成長することで、森林機能の回復が期待できる。 小学生や保護者に森林の持つ機能の重要さや森林整備の大切さといった意識 啓発を図ることができた。

R1

R2

R3

R4

R5

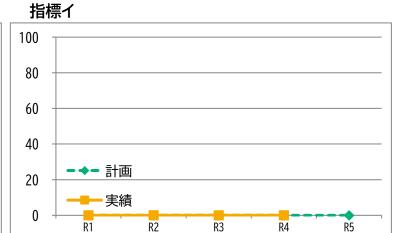
④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

提供する 事業活動 成果 基本施策 基本目標 施策の展開 モノやサービス 将来にわたっ て元気な地域 保安林に苗木を植栽 をつくり、安 保安林への植栽工事 ⇒する 植樹会を開催 全・安心で暮 植樹会を開催する らしやすいま ちづくり

(2)活動と成果の状況 ① R4の主な活動や実績 → ② 活動指標 単位 植栽面積640㎡ 植樹会の開催 植栽の面積 m 単位 ③ 成果指標 方向性 植栽の面積累計 m 増やす 1 実績

640 512 384 640 640 実 512 384 384 640 計 画 実 R1 R2 R3 R4 R5 8,526 9,550 9,166 9,806 10,446 実 8,398 8, 782 9,166 9,806

④成果指標の動向 指標ア 植栽の面積累計 15,000 12,000 9,000 6,000 -----計画 3,000 実績 0



(3)コストの状況				<u>(i</u>	単位:千円)			
) 事務事業費	R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算			
	1. 工事請負費	2,090	1,925	1,925	4,047	5,401			
	2. 報償費	0	0	0	21	32	常時	1	人
費	3. 需用費	301	0	295	14	20	中时	1	
目	4. 役務費	1	0	0	1	2			
内	5. 委託費	0	0	0	428	495	最大	8	人
訳							AXX	0	
	合計	2,392	1,925	2,220	4,511	5,950			
	国·県支出金	0	0	0					
財源	也刀頂	0	0	0					
内	その他	800	0	0					
訳		1,592	1,925	2,220	4,511	5,950			
	一般財源の比率	66.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			
		な世口の書	+νπ/ D Λ\+ Φ	-/					<u></u>
_		各費目の語					Htt. I. a	Arres A	5
	工事請負費	植栽工事・					樹木の		
	.報償費	植樹会記念					により	/ 们旦秋1	田恨い
	.需用費	植樹会消耗							
4.	.役務費	植樹会傷害	保険料						

		② 従事職員数	
常時	1	<u></u>	
最大	8	人× 1 日 = 延べ	8 人

③ 各費目の詳細(R4決算)								
植栽工事・補植工事費								
植樹会記念品代								
植樹会消耗品費								
植樹会傷害保険料								
保安林除草業務委託								
寺定財源の詳細(R4決算)								
h h								

⑤ R3→R4 増減理由 樹木の無い箇所を選定して植栽しているため、年度 により植栽面積にばらつきがある。

(4)事務事業に関す	る評価			
	判定			分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗	順調		とおり進捗してお	おり、順調である。
	,,,,,		1	
② 成果指標の推移	指標ア	判定 好調維持	予定のとおりに	分析(変動の要因や対策について) に進捗している。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(R3→R4)	指標イ	判定		分析(変動の要因や対策について)
	判定		方針	判定・方針の詳細
③ 今後の方向性 (①・②を踏まえた R5以降の方針)	継続写	尾施		今後も事業を継続し、引き続き森林機能の回復に努めていく。

					会計款		項目			☑ 総合戦略
事業コード・事務事業名		25400	有害鳥獣駆除事業	予算科目-	一般	6	2		掲	
				所管課		農水産	課		載計	□ 新市建設計画
1-55	基本施策	1	農水産業の振興	担当班	農	業基盤整	E備班		冒画	□ 定住自立圏共生ビジョン
施策体系		2	安定した農業経営の推進	開始年度		不詳			_	☑ 過疎地域持続的発展計画
P+1/1	戦略事業名	18	有害鳥獣駆除事業	根拠法令	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律					□ R4主要事業

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

農作物の被害防止のため、加害鳥獣(カラス、イノシシ等)の駆除を猟友会に委託する。 期間:5月初旬から10月末まで(イノシシは通年)

実施時間:日の出から日の入まで

② 開始の経緯((なぜこの事務事業を始めたのか)

猟友会へ鳥獣駆除を委託し、農作物の被害防止に努めている。 平成29年度からイノシシの駆除を実施している。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

イノシシによる被害が拡大しており、捕獲頭数も増えている。また、駆除従事者である猟友会員の高齢化が激しく、事業の継続に懸念がある。 農業者からわな設置要望が寄せられている。

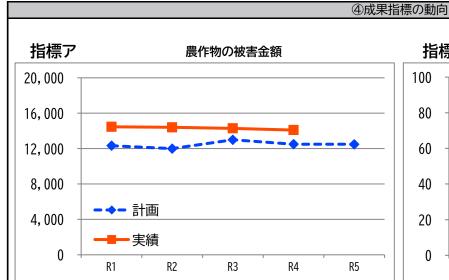
④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

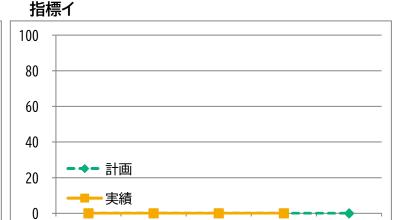
母 事務事業の日前に位置けているのがり											
事業活動		提供する モノやサービス		成果		施策の展開		基本施策		基本目標	
カラス、イノシシ等駆除の猟友会への委託 ロ		加害鳥獣による農作 物被害防止	⇒	被害の削減により、農業経営への安心感	➾	安定した農業 経営の推進	⇒	農水産業の振 興	➾	魅力ある雇用 を創出し、安 心して働ける まちづくり	

(2)活動と成果の状況 ① R4の主な活動や実績 鳥類は銃による捕獲・追い払いの実施 鳥類 計 453羽捕獲 イノシシはわなによる捕獲を実施 イノシシ 計 10頭捕獲

⇒ [2	活動指標	単位		R1	R2	R3	R4	R5
	٦	有害鳥獣捕獲数(カラス、スズメ、ドバト	羽	計画	1,284	1,284	1,676	1,691	1,721
	,	等) 	20	実績	478	567	560	453	
	7	有害鳥獣捕獲数(イノシシ、キョン等)	頭	計画	30	20	20	15	13
	-1	有合局的用後数(1ノンノ、イコノ寺)	飒	実績	9	12	6	10	







R5

R2

(3)コストの状況 <u>(</u>単位:千円) R4決算 ① 事務事業費 R1決算 R2決算 R3決算 R5予算 1. 鳥獸駆除委託料 1,740 1,907 1,886 3,085 2,738 2. 保険料 170 278 289 286 21 費 3. 消耗品費 目 4. 負担金補助及び交付金 17 19 32 35 67 25 569 283 711 内 5. その他 訳 18 30 3(50 15 2,012 2, 259 2,791 3,371 4, 153 合計 国·県支出金 242 249 242 246 地方債 0 0 その他 0 0 般財源 1,770 2,010 2,549 3, 125 3,888 一般財源の比率 91.3% 92.7% 93.6% 88.0% 89.0%

	② 彷	事職員数	
常時	1 人		
最大	3 人× 1	日=延べ	3 人

③ 各費目の詳細(R4決算)								
1.鳥獣駆除委託料	有害鳥獣駆除委託料ほか							
2.保険料	従事者保険料ほか							
3.消耗品費	小型獣用箱わな							
4.負担金補助及び交付金	協議会補助金・罠猟免許助成金・防護柵補助金							
5.その他	イノシシ埋却謝金							
4	特定財源の詳細(R4決算)							
国·県支出金 <mark>野生獣管理事業</mark>	補助金							
地方債								
その他								

⑤ R3→R4 増減理由

1.燃料価格の高騰や有害鳥獣駆除に対する委託費の見直し
4.協議会への補助金の削減

(4)事務事業に関する評価 分析(好不調の要因や対策について) 前年度と状況は変わらず、駆除従事者である猟友会員の高齢化が激しく、事業の継続に懸念がある。 イノシシの捕獲頭数が増加したが、個体数が増加している可能性もあり。 関係団体や地域の農業従事者との協力体制を強化していく ① 事務事業の進捗 停滞 判定 分析(変動の要因や対策について) 被害金額は減少しているが有意な差がないので、今後は被害の状況把握を含め情報収集等を進める。 駆除の範囲を明確化し、効率的な捕獲を進めていきたい。 指標ア 伸び悩み ② 成果指標の推移 (R3→R4) 判定 分析(変動の要因や対策について) 指標イ 方針 判定 判定・方針の詳細 委託内容の特殊性、駆除従事者数が限られているため事業の拡大は困難な状況。 地域の農業従事者にも協力してもらい、駆除従事者である猟友会の負担を減らせるような ③ 今後の方向性 取り組みを行っていく。 (①・②を踏まえた 継続実施 R5以降の方針)

	ニード・	水産業総務事務費(栽培漁業振興対 等)(担い手・後継者の意成)		予算科目	会計 款 項 目 一般 6 3 1		掲	☑ 総合戦略 □ 国土強靱化地域計画		
事務事業名		23000·	策)(担い手・後継者の育成)		果農水産課					☑ 新市建設計画
+	基本施策	1	農水産業の振興	担当班		振興班	E		計画	□ 定住自立圏共生ビジョン
施策体系		3	水産業の振興	開始年度		不詳				□ 過疎地域持続的発展計画
14,117	戦略事業名	19	栽培漁業振興対策事業	根拠法令	旭市農水産振り	興事業補足	助金交付	要綱ほか		□ R4主要事業

- ① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)
- (1)千葉県栽培漁業振興総合対策事業補助金(将来の水産資源の安定供給のためダンベイキサゴ(ながらみ)の種苗放流する事業の経費の一部補助)
- (2)旭市農水産振興事業補助金:①後継者育成補助金(研修会、イベントの経費の一部補助) (3)水産朝市補助金(飯岡漁港で水揚された水産物を水産朝市で直売するイベントの経費の一部補助)【平成27年度廃止】

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

漁業従事者の環境は、水産資源の減少や輸入水産物の増加及び景気 の後退などにより経営は悪化をたどり、漁業者の高齢化、後継者不足など - 層厳しい状態にあるため、各事業において補助を行うことで経営の安 定を図ることを目的として、旧旭市、飯岡町で実施をしていた補助金を合 併後も引き続き実施。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

平成27年10月に、道の駅季楽里あさひのオープンにより、飯岡漁港で水揚された 鮮魚・活魚や旭市産の水産加工品が直売されるようになった

漁獲量が減ってきており平成27年度に水産朝市が開催できず補助金が廃止と なった。

令和2年度から成果指標イについて、海匝漁業協同組合の業務報告書より、貝 捲漁業の漁獲量を活用。

② 東発車業の日的と位置付け(何を日指しているのか)

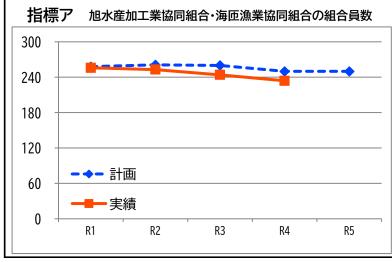
	9		5日11日((いのの)))		
事業活動	提供する モノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
水産業に係る各種補助金を周知する。	千葉県栽培漁業振興 総合対策事業補助金 や旭市農水産振興事 業補助金を交付す る。	種苗放流事業により、将来 の水産資源の安定供給や研 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	⇒ 水産業の振興 🖣	⇒ 農水産業の振 興	魅力ある雇用 を創出し、安 心して働ける まちづくり

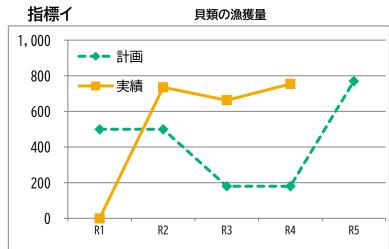
(2)活動と成果の状況 ① R4の主な活動や実績 千葉県栽培漁業振興総合対策事業補助金の交 付(ちょうせんはまぐりの放流)

Г	2	活動指標		単位		R1	R2	R3	R4	R5
	7	7 研修会参加・先進地視察の実施				3	3	3	1	0
		小ドスタル・九足地代宗の夫 ル		回	実績	0	0	0	0	
	1				計画					
					実績					
	1	-								-
	3	成果指標	方向性	単位		R1	R2	R3	R4	R5
	ア	旭水産加工業協同組合·海匝漁業	1	J	計画	258	261	260	250	250
		協同組合の組合員数	描かす		実繕	256	253	244	234	

増やす 180 180 500 500 770 イ 貝類の漁獲量 t 実 未公表 735 663 754 増やす

④成果指標の動向





(3	3)コストの状況					<u>i</u>)	単位:千円)	
	事務事業費		R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	② 従事職員数
	1. 栽培漁業振興対策	事業補助金	金 80	80	80	650	650	
	2. 水產振興事業補助	助金	0	0	0	0	0	常時 2 人
書			0	0	0			
費目内訳			0	0	0			
内								
訳								最大
	合計		80	80	80	650	650	
Н	国・県支出		50	50	50	500	500	
財源内	地方債		0	0	0	000	000	
源	その他		0	0	0			
囚	一般財源	ī	30	30	30	150	150	
訳	一般財源の		37.5%		37.5%		23.1%	
	川文宗 川川 マフレ	<i>-</i> ∪—	37.3/0	31.3/0	31.3/0	LJ: 1/0	LJ: 1/0	
			③ 各費目の評	詳細(R4決算	Į)			⑤ R3→R4 増減理由
1.	栽培漁業振興対策事			漁業振興総		美補助金		県単事業の別事業種目及び事業費の増のため。
	水産振興事業補助金		後継者育成		H / 4/14 4 //	4110-73 333		その他のかん水種苗放流事業(補助率経費の3分の
	小生派只要不同约亚	<u> </u>	区/配 日 日 /公	111111111111111111111111111111111111111				1) →ちょうせんはまぐり種苗放流事業 (補助率経
								費の2分の1)
								R3事業費: 150,000円→R4事業費: 1,000,000円
		0	り特定財源の	詳細(D//沖)			
F:	国·県支出金 千葉県		等 特定的 源 (2) 上表與組合総 (2)			歩の2公の1)		
Ŀ		卡 林····································	村	□刈來爭未↑	用助並(胜)	頁(7)(7)(7)(7)		
	地方債							
	その他							
(4	1)事務事業に関す	る評価						
	. / 3 - 3 - 3 - 5 4 - 5 - 4 -	判定				分析((好不調の要	因や対策について)
				战培漁業振興	総合対策			来の水産資源の安定供給のため、ちょうせんはまぐりの種
			苗放流に	に対して一部	補助してお	り、令和3年	度事業からは	は拡大をした。しかし、新型コロナウイルスの影響等により研
	· 	(は、ここ数年実施できていない。海匝漁業協同組合の組合
U	事務事業の進捗		員数が微	改減しており.	後継者育用	成を実施して	いきたい。	
		概ね順						
		دارات ا الردا	CDIC	_				
			判定					り要因や対策について)
			A.G.	海匝漁業協	同組合の組	合員数が微	減しており、	後継者育成を実施していきたい。
		指標ア						
		コロコボノ						
	N — U. I — - 14425		伸び悩み					
(2)	成果指標の推移		V/II				ハルノナギ	TITILIA LINE IN THE INC.
	(R3→R4)	l l	判定	- 13 kb - 21	OHU A . A. A. A.			の要因や対策について)
			453	気候等の影	響もあり、田田松会社等	4年多少のに	いかまはあった。	るが、令和4年度は例年より多い漁獲高であった。千葉県 ているかと思われる。
					興総合刈床	中耒州即金	が対来は凸	ているかと思われる。
		指標イ	THE COLUMN THE PARTY OF THE PAR					

			 1					
			向上					
		判定		方針				判定・方針の詳細
		十小人		刀亚	己と生さ	を何年どむい	四本の水产	判定・刀針の計権 資源の安定供給のため、補助金(ちょうせんはまぐりの種苗
					放流)の	交付を宝施	する。また、名	貴線の女足供給のため、補助金(らようせんはまくりの種田 後継者育成補助金についても力を入れていく。
	③ 今後の方向性				3X171U/ V)		, 00 00 CC	THE HAMMING THE PARTY OF THE PA
	①・②を踏まえた	継続実	2 梅					
F	R5以降の方針)	小性小儿子	こル ピ					

事業コード・事務事業名		1256002		予算科目	会計 一般				掲	☑ 総合戦略 □ 国土強靱化地域計画
3.07	カチベロ		0)连汤/	所管課		農水産	課		載計	☑ 新市建設計画
+/	基本施策	1	農水産業の振興	担当班	振興班					□ 定住自立圏共生ビジョン
施策体系		3	水産業の振興	開始年度	不詳					□ 過疎地域持続的発展計画
PTVIN	戦略事業名	24	漁業関係団体との連携	根拠法令	旭市農水産排	辰興事業	補助金交	付要綱		□ R4主要事業

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

- (1)旭市農水産振興事業補助金
- ①水産加工業振興事業補助金(水産加工品PR活動・研修会等経費の一部補助)
- ②沿岸漁業振興事業補助金(旋網船団に対する旋網漁業に係る経費の一部補助)
- (2)魚類調査船くろしお号調査負担金(魚類探査等の調査船くろしお運営のための経費の一部負担)

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

漁業従事者の環境は、水産資源の減少や輸入水産物の増加及び景気 の後退などによる経営が悪化している。各事業において補助を行うことで 経営の安定を図ることを目的として、旧旭市、飯岡町で実施をしていた補 助金を合併後も引き続き実施。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

平成27年10月に、道の駅季楽里あさひのオープンにより、飯岡漁港で水揚された 鮮魚・活魚や旭市産の水産加工品が直売されるようになった。令和元年以降、 水産庁ホームページのイワシ類の漁獲量は未公表となっている。 令和2年から海匝漁業協同組合の業務報告書より、まき網漁業の漁獲量を活

用。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

提供する 事業活動 成果 基本施策 基本目標 施策の展開 モノやサービス 水産加工業振興事業 魅力ある雇用 水産物・水産加工品のPR 農水産業の振→ 漁業関係団体に対し 補助金及び沿岸漁業 を創出し、安 て、各種補助金を周 →振興事業補助金や魚 心して働ける 類調査船の調査負担 知する。 る。 まちづくり 金を交付する。

④成果指標の動向

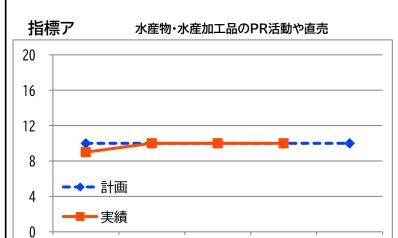
(2)活動と成果の状況

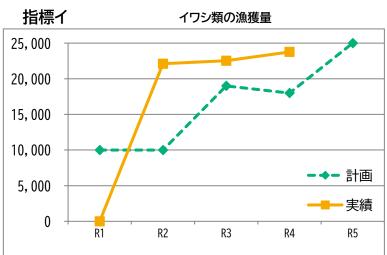
① R4の主な活動や実績 各種補助金の交付

- 水産加工業振興事業補助金の交付
- ・沿岸漁業振興事業補助金の交付
- 調査負担金の支払い
- ・魚類調査船「くろしお号」の調査負担金

 	2	活動指標	単位		R1	R2	R3	R4	R5
	ア	旋網船団の無線使用		計画	20	20	21	21	18
	<i>y</i>	ル村がロロク無線使用	隻	実績	21	21	21	18	
	_			計画					
	1			実績					

₩							-		_
3	成果指標	方向性	単位		R1	R2	R3	R4	R5
니	水産物・水産加工品のPR活動や	1		計画	10	10	10	10	10
٦-	直売	増やす		実績	9	10	10	10	
1	イワシ類の漁獲量	1	+	計画	10,000	10,000	19,000	18,000	25,000
1	1・プン類の温度里	増やす	ı	実績	未公表	22, 115	22, 521	23, 759	





(=	3)コストの状況					(単	位:千円)	
	事務事業費		R1決算	R2決算	R3決算		R5予算	② 従事職員数
	1. 水産振興事業補助	助金	320	320	320	320	320	
	2. 魚類調査船くろしおり	号調查負担?		 	300	300	300	常時 2 人
費			0		0			
費目内訳			0	0	0			
小訳								最大 人 × 日 = 延べ 人
D/ \								
	合計		620	620	620	620	620	
		<u></u>	020		020	020	020	
財	地方債	717	0		0			
源.	その他		0		0			
財源内訳	一般財源	Į	620	· ·	620	620	620	
可以	一般財源のよ		100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	
_			② 夕井口の	光如/D4:4 空	-\			
1 -	水産振興事業補助金		③ 各費目の記 水産加工業			魚業振興事業神	歯助全160	⑤ R3→R4 増減理由
	水産振興事業補助金 魚類調査船くろしお号			振興事業補助			用切立100	
۷٠,	一次明点加入りしの方	则且只 担3	本国深来打	4年加入のし	の7座呂頁	只但亚		
		(4 特定財源の	詳細(R4決算	章)			
[国·県支出金							
	地方債							
	その他							
(4	1)事務事業に関す	る評価						
Ĺ	1/ 1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/	判定				分析(如	子不調の要	因や対策について)
			水産物·	水産加工品の	DPR活動や	直売の機会に	こついて、例	列年と同様の回数を行った。
		(
1	事務事業の進捗	(/)					
		الا مد ۱۱۱۳	E=M					
		概ね順	調					
			 判定			5	分析(変動の	フ要因や対策について)
			NS	水産物·水産	を加工品のF			ついて、例年同様となっている。
			200					
		指標ア						
		101007	- X X					
			17=m/41+					
(2)	成果指標の推移		好調維持					
8	(R3→R4)		判定			4	↑析(変動の	の要因や対策について)
	(110 111)		Su	気候等の影	響もあり、毎			るが、令和4年度は前年度より多い漁獲量であった。
				4 - 240			2 13447	- MARIAN I AND A STATE OF THE S
		指標イ						
		TEN示기						
			向上					
		判定	·]I	方針				判定・方針の詳細
		刊走		力虾	引き結さ	例年どおり -	水産加工型	利定・力ずの評細 採振興事業、沿岸漁業振興事業補助金を交付し、魚類調査
	D A 44 D 1 4 H					お号調査負担		
	3 今後の方向性							
	①・②を踏まえた R5以降の方針)	継続ま	€施 📗					
	(つめ\P中♥ノ/JΨI/							

心して働ける

まちづくり

事業		25500	な 米 サルエンタ ヘイルフ ヤナッハ 吉 米	予算科目	会計款項		目		☑ 総合戦略	
	多事業名	25700	漁業制度資金利子補給事業		一般	б	l	3	掲載	□ 国土強靱化地域計画
				所管課		□ 新市建設計画				
+	基本施策	1	農水産業の振興	担当班		振興班	Ē		計画	□ 定住自立圏共生ビジョン
施策体系		3	水産業の振興	開始年度		平成17年	度		等	
PTVIN	戦略事業名	22	制度資金利子補給事業	根拠法令	旭市漁業近付	代化資金	利子補給	条例等		□ R4主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

・漁業者の生産設備の高度化、近代化等を推進する目的で漁業協同組合が行う融資について、利子補給を行う。また、漁船の建造、取得、改造、漁具の取 得等を行う目的で日本政策金融公庫等が行う融資について、利子補給を行う。

1.漁業近代化資金利子補給補助金

2.漁業経営改善支援資金利子補給補助金

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか) ③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか) 旭市漁業近代化資金利子補給条例(H17.7.1) 漁業経営体数の減少 旭市漁業経営改善支援資金利子補給補助金(H18.12.28) ④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか) 提供する 事業活動 成果 施策の展開 基本施策 基本目標 モノやサービス 漁業協同組合等が行 魅力ある雇用 う漁業近代化資金や 農水産業の振→ 漁業制度資金利子補 制度資金を借り受けている を創出し、安 日本以東亜融公庫等 が行う漁業経営改善 → 漁業者の生産設備の高度 → 水産業の振興 →

化・近代化が進む。

給事業の周知を図

(2)活動と成果の状況 ① R4の主な活動や実績 各種補助金の交付 漁業近代化資金に対して、利子補給金を交付。

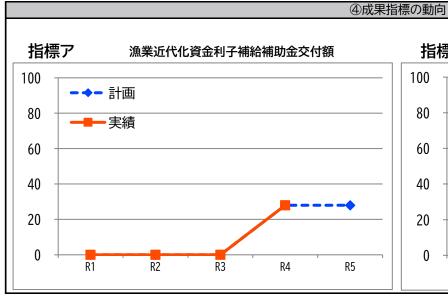
 \Rightarrow

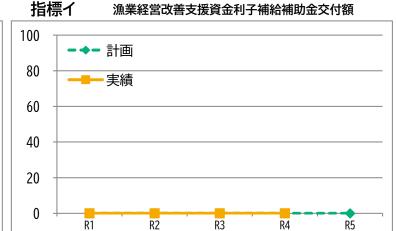
資金に対して、利子補

給金を交付する。

\Rightarrow	2	活動指標		単位		R1	R2	R3	R4	R5
	マ	漁業経営の近代化		件	計画	0	0	0	1	1
	,	然未性呂の近代旧			実績	0	0	0	1	
	イ	効率的・安定的な経営体の育成		件	計画	0	0	0	0	0
	-	が 一		117	実績	0	0	0	0	
	1									
	3	成果指標	方向性	単位		R1	R2	R3	R4	R5
	ア	漁業近代化資金利子補給補助金	1	千円	計画:	0	0	0	28	28

交付額 0 0 増やす 0 0 0 漁業経営改善支援資金利子補給 千円 実績 補助金交付額 0 0 増やす





)コストの状況				_	<u>(</u> 単	位:千円)					
	事務事業費		R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	② 従事職員数				
	1. 漁業近代化資金利子	P補給補助	金 0	0	0	28	28					
	2. 漁業経営改善支援資金和	引子補給補助	金 0	0	0	0	0					
書			0	0	0			常時 <mark>2</mark> 人				
日			0	0	0							
人					•							
費目内訳								最大 <mark> 人 × 日 = 延べ 人</mark>				
-												
ŀ			0	0	0	28	28					
\dashv			0	0	0	0	0					
財		<u>117</u>				U	0					
財源内訳			0	0	0							
内	その他		0	0	0	200	0.0					
訳	一般財源		0	0	0	28	28					
	一般財源のと	<u> </u>				100.0%	100.0%					
			③ 各費目の詞	詳細(R4決算))			⑤ R3→R4 増減理由				
1.7	魚業近代化資金利子神	浦給補助 。		資金利子補給				微増のみ				
	魚業経営改善支援資金利			善支援資金利		助金						
2.17	·····································	J 110/14 110295	业 1派来准占5	日人汲貝亚尔	מווחיים ורכי	1293 212						
				=¥4m/p 4\± 66	-\							
_		(.	④ 特定財源の	詳細(R4決算	<u>L)</u>							
	国·県支出金											
	地方債											
	その他											
(/	4)事務事業に関す <u>る評価</u>											
(4	/ 尹仂尹未に 月9	る計画 判定	,			公析()	な不調の亜	因や対策について)				
		小 儿		サイチャルジュナル	アリンスァリ			図で対象について) 望する漁業者が少ない。				
			() () () () () () () () () ()	は体数が減少では大数で	とな描わす	こひめり、前は	と貝立と作う 《亜	色りる庶未有が少ない。				
			(思天/主	5 件数 5 偶未1	H C 7H 1 9	4人7/114/2002	少女。					
1	事務事業の進捗		7									
		停港	F									
			 判定				<u>∖₊∟(</u> ᢧᠷᡱᡰ᠘)要因や対策について)				
			刊化	- 令和4年度に	海光片化							
			23	漁業経営体数								
			(F) (F)	会和3年度に	スト伝来石 油業近代/	化資金を借り	州のもの多	て。 『1件あり、令和4年度より利子補給金を交付。				
		指標ア	OFE (1,410-4-1210		口英亚で旧り	Z17113X/V	11100八月11111111111111111111111111111111				
			4									
			/ 1 - 2 1 1 1 2									
	プロド 畑の#16		伸び悩み									
(2)	成果指標の推移		Wileh				_L / 	ンモロルゼケにのリマ ⁾				
	(R3→R4)		判定	A 40 4 60 00 100	- ACC 555 All C 4.7)要因や対策について)				
			45	令和4年度に	漁業経宮 ¹	次善支援資金	を借り受け	た漁業者0件だった。				
		指標イ	718.									
		3412.										
			伸び悩み									
		判定	, JI		7			判定・方針の詳細				
		刊走	-	刀町	引き結さ	・個年 ビャル 日	と かん を 付っ	刊定・力軒の評価 「る漁業者に対して、本事業の周知を図る。また、環境の変				
					小笠 海	業経学体の過	成小について	る漁業者に対して、本事業の周知を図る。また、環境の変 ても対策を検討していく。				
	③ 今後の方向性				口力、沿	木吐百件の	W D VC DV · (
((①・②を踏まえた	经收金十二	= t/c									
	R5以降の方針)	継続到	€NO									

車業	美コード・			予算科目	会計	款	項	目		☑ 総合戦略
	多事業名	25800) 漁業経営共済助成事業 (***	3 971111	一般	6 3 1				□ 国土強靱化地域計画
1 10.	刀子未口				農水産課					□ 新市建設計画
+1-1-1-1-1-1	基本施策	1	農水産業の振興	担当班		振興班	Ē		計画	□ 定住自立圏共生ビジョン
施策体系		3	水産業の振興	開始年度		平成5年	度		等	
PTVIV	戦略事業名	23	漁業経営共済助成事業	根拠法令	漁業災害補償法、抗	但市漁業共活	斉掛金補助 3	金交付要綱		□ R4主要事業

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

千葉県漁業共済組合が行う漁業共済事業に係る共済契約者の掛金の一部を助成する。

中小漁業者が共済組合に支払う純共済掛金と付加共済掛金の合計額の10%以内を補助する。

①補助金交付申請(漁協→旭市) ②補助金交付決定(旭市→漁協) ③実績報告(漁協→旭市) ④補助金額確定通知(旭市→漁協) ⑤補助金交付請求(漁協→旭市) ⑥補助金の支出(旭市→漁協)

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

漁業災害補償法に基づき、千葉県漁業共済組合が行う漁業共済事業に 係る共済契約者の掛金の一部を助成している。 ウクライナ情勢等による物価高騰の影響 令和2年度から活動指標イの水揚高について、海匝漁業協同組合の業務報告 書の漁獲高を活用。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

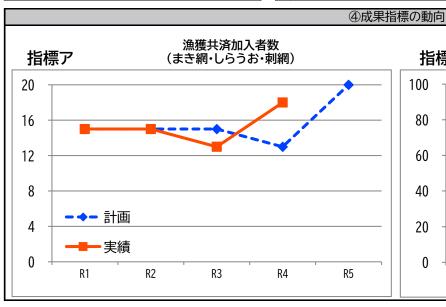
提供する 事業活動 成果 基本施策 基本目標 施策の展開 モノやサービス 中小漁業者が千葉県 魅力ある雇用 中小漁業者の負担する共済 漁業共済組合に支払 農水産業の振→ 共済助成事業に関す → 掛金の一部が軽減され、漁 → 水産業の振興 → う純共済掛金と付加 共済掛金の合計額の を創出し、安 る補助金を周知す 業共済への加入が増加す 心して働ける 10%以内を補助す る。 まちづくり

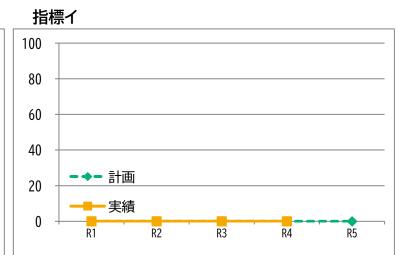
(2)活動と成果の状況 ① R4の主な活動や実績

① R4の王な沽動や実績 補助金の交付 漁業共済掛金補助金(まき網・刺網・しらうお)の 交付

→ [2	活動指標	単位		R1	R2	R3	R4	R5
	니	申請件数	件	計画	1	1	1	1	1
	,	中胡丁奴		実績	1	1	1	1	
	1	水揚高(漁獲共済対象漁業種分)	#TE	計画	2,000	2,000	2,000	2,000	3,000
	7	小汤向(点)受六月对多点未怪刀)	百万円	実績	(未公表)	2, 213	1,689	2,825	

③ 成果指標 単位 R3 R5 方向性 R1 R2 R4 15 15 15 13 20 漁獲共済加入者数 実績 (まき網・しらうお・刺網) 15 15 13 18 増やす 計 1 実績





(3):	コストの状況				_	<u>i</u>)	单位:千円)	
	務事業費		R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	② 従事職員数
1.	負担金補助及び	交付金	6,939	6,971	6,780	6,656	7,451	
			0	0	0			常時 2 人
書			0	0	0			常時 <mark>2</mark> 人
			0	0	0			
費 目 内 訳				J	·			
訳—								最大 <mark> 人 × 日</mark> = 延べ 人
l ⊢	∆ =⊥		C 020	C 071	C 700	C CEC	7 451	
Н-	合計	^	6, 939	6,971	6,780	6,656	7,451	
B+	国·県支出	金	0	0	0			
源—	地方債		0	0	0			
財 源 内 訳	その他		0	0	0			
訳	一般財源		6,939	6,971	6,780	6,656	7,451	•
	一般財源の	北率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
			③ 各費目の語		Į)			⑤ R3→R4 増減理由
1.負担	旦金補助及び交付	金	漁業経営共	済補助金				微減のみ
		0	り特定財源の	学细(D/)	質 \			
田.	県支出金	9			开 /			
	地方債							
	その他							
(1)	事務事業に関す	ス証価						
(-7/	F加于木ICINIY	判定				分析 (好不調の要	因や対策について)
		13/2		クライナ情勢	さによる物価			所加入者数が増加した。
			, . , . ,	2 2 1 7 IG2				17H7 (13XW 7H3H 07C)
		(,	,)					
1 1	事務事業の進捗							
		加去二年	,					
		順調	j					
			 判定				分析(亦動の	ク要因や対策について)
				漁業共済加	17 老粉が母		カ州(支期()	フ女凶 7 別界に ブバモ
			453	侃某共済加	八有奴孙唱	がいして。		
			() () () () () () () ()					
		指標ア	THE T					
			*					
_			向上					
	以果指標の推移							
((R3→R4)		判定				分析(変動の)要因や対策について)
		指標イ						
		1日(水)						
		判定		方針				判定・方針の詳細
					世界情勢	めの不安定さ	がある中で、	、引き続き漁業経営共済補助金の交付を行う。
					- 71 1137	. , , , , , , , ,		
	A /// (T - 1-1 - 11)		ll I					
3	今後の方向性							
(1)	今後の方向性 ・②を踏まえた 5以降の方針)	継続実	施					

_										
== **	← ¬ »			予算科目	会計	款	項	目		☑ 総合戦略
事業コード・		25900	<mark>100 </mark> 漁港改修事業		一般	6 3 1			掲	□ 国土強靱化地域計画
3137	7 开 不 口			所管課	農水産課					□ 新市建設計画
+	基本施策 施策 体系		農水産業の振興	担当班		振興班				□ 定住自立圏共生ビジョン
他汞 体系			水産業の振興	開始年度				等		
PTVIN	戦略事業名	20	水産基盤整備事業	根拠法令	地方財	政法第2	7条第1項	頁		□ R4主要事業

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

- 千葉県が実施する漁港関係県単独事業の地元負担金の支払に関係する事務
- ①負担金協議(県→旭市) ②協議回答(旭市→県) ③負担金納入通知(県→旭市) ④負担金の支出(旭市→県)
- ⑤地元負担金の請求(旭市⇒海匝漁協) ⑥海匝漁協が地元負担金の取りまとめ(匝瑳市・横芝光町分)
- ⑦地元負担金の納入(海匝漁協⇒旭市)
- 1. 漁港整備事業 負担内訳 県1/2、 地元負担1/2 2. 特定漁港浚渫事業 負担内訳 県3/4、 地元負担1/4
- |※地元負担:海匝漁協1/2、関係市町村(船籍割)1/2(旭市30%、匝瑳市17.5%、横芝光町2.5%)

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

飯岡漁港は、昭和28年に第1種漁港(その利用範囲が地元の漁業主とするもの)に指定され、昭和43年度に一部供用開始となり、海匝漁業協同組合加入の漁業者が利用している。長年の流砂埋没への対策強化として、外郭堤防も重点的に整備されてきた。しかし、流砂による影響はあるため、漁港を管理する千葉県により、漂砂堆積の浚渫や漁港内道路等の維持補修(改良)が県単独事業で実施されている。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

特になし

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか) 提供する 事業活動 成果 基本施策 基本目標 施策の展開 モノやサービス 県からの負担金協議 に対して、地元負担金 魅力ある雇用 のとりまとめを行い、 農水産業の振→ 千葉県が臨港道路補 漁港内における航行時事故 を創出し、安 千葉県が実施する漁 → 修や航路脇浚渫工事 → 件数や漁港内道路等の事故 → 水産業の振興 → 心して働ける 港関係県単独事業の 件数が減少する。 を実施。 まちづくり 地元負担金を支払 う。

④成果指標の動向

0

(2)活動と成果の状況 ① R4の主な活動や実績

指標ア

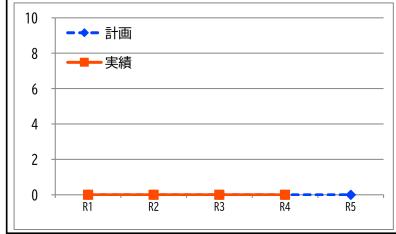
① R4の主な活動や美績 漁港施設の機能診断に基づく保全工事、航路確 保調査、浚渫工事、いいおかみなと公園の維持管 理等

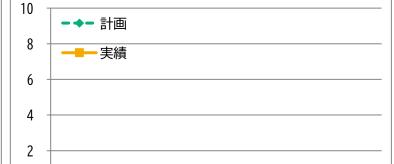
ľ	7	② 活動指標		単位		R1	R2	R3	R4	R5
		ア 浚渫回数			計画	1	1	0	1	1
					実績	1	1	1	1	
					計画					
		1			実績					
	-	<u> </u>								
		③ 成果指標	方向性	単位		R1	R2	R3	R4	R5
		ア 漁港内における航行時事故件数	•	件	引画评	0	0	0	0	0
ı			•		実	_		_		

 ③ 成果指標
 方向性 単位
 R1
 R2
 R3
 R4
 R5

 ア 漁港内における航行時事故件数
 (件)
 計画
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)
 (0)

漁港内における航行時事故件数 指標イ





R3

R4

R5

漁港内道路等における事故件数

	3)コストの状況						<u> 单位:千円)</u>	
1	事務事業費		R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	② 従事職員数
	1. 負担金補助及び	交付金	2,067	4, 237	2,595	8,313	13,820	
			0	0	0			常時 2 人
費			0	0	0			
費目内訳			0	0	0			
内								
訳								最大
	合計		2,067	4,237	2,595	8,313	13,820	
	国·県支出	金	0	0	0			
財源内訳	地方債		0	0	0			
源	その他		1,447	1,854	1,816	5, 267	9,674	
	一般財源	Į	620		779	3,046	4, 146	
	一般財源の		30.0%		30.0%		30.0%	
			③ 各費目の評					⑤ R3→R4 増減理由
1.	負担金補助及び交付	金	漁港整備事	業負担金、	特定漁港浚	漢事業負担	金	令和3年度から繰越した事業費があるため。
		(4	り特定財源の	詳細(R4決	算)			
	国·県支出金							
	地方債							
		負担金(汽	事 匝漁協、匝 ³	差市、横芝为	と町)			
	4 \ 							
(4	4)事務事業に関す					/\ 1C /	わてヨヘエ	田かせなについて
		判定		5円十ッイ本	i目) y 1-11 /			因や対策について)
				理する十集	県により、毎	中、漂砂堆	傾の液深や液	魚港内道路等の維持補修が実施されている。
		(
(1	事務事業の進捗							
		hizz-c						
		順調	j					
		I	 判定				分析(亦動の)要因や対策について)
				漁港内にお	ける航行時		刀们(夂到0.	7女四で別外に ブロス
			73	は、一部でという	ころ言いる	北水の山		
			(CE)					
		指標ア	4					
			九二三田公仕十二					
0	成果指標の推移		好調維持					
٧	(R3→R4)		判定				分析(変動 <i>σ</i>	
		-	NG.	漁港内道路	等における		-5 I/ (\\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
					J. 1317 W			
		1K1# (100					
		指標イ	44					
		-	* * 4					
			好調維持					
			▶1 日刊小庄1八					
		判定		方針				判定・方針の詳細
						例年どおり	事業実施のた	とめ、地元負担金の支払い及び関係市町村等と協議の実
	3 今後の方向性				施。			
	3 7後の方向任 ①・②を踏まえた							
(R5以降の方針)	継続実	施					

				-						
= *	← ¬			予算科目	会計	款	項	目		☑ 総合戦略
事業コード・事務事業名		26200	<mark>200</mark> みなと公園管理費 ┃ ┃ ┃		一般	6 3 2			掲	
1 107	7 开 不 口			所管課 農水産課						□ 新市建設計画
+//5/5	基本施策	19	公園の充実	担当班		振興班	Ē		計画	□ 定住自立圏共生ビジョン
他束	施策 休系		公園の維持管理	開始年度			等	□ 過疎地域持続的発展計画		
r+v/l	戦略事業名	179	公園維持管理	根拠法令	飯岡漁港環境整備	備事業施設	維持管理変	変更協定書		□ R4主要事業

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

- いいおかみなと公園の日常的な維持管理業務
- ・遊具・トイレ等設備の管理点検、補修業務

・草刈り、公園清掃業務、ごみ収集業務(委託) 重要または大規模な修繕や改修等については、施設権利者である県と協議

平成25年度より、外西防波堤親水型堤防の日常的な維持管理業務を追加

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

旧飯岡町からの要望により、平成9年度建設開始(飯岡漁港環境整備事 業施設)。平成12年度完成。平成14年度、県と旧飯岡町で維持管理協定 締結。平成15年度、内容を一部修正した変更協定書締結。平成17年度、 合併により旧飯岡町から新旭市へ管理を引き継ぐ。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

・設備の破損等(老朽化や津波被害、人為的理由等のため)による交換、撤去。 ・事務所が新庁舎へ移転したことにより公園から遠くなった(車で片道30分) 日常的な巡回業務の所要時間が増えたほか、突発的な事故等に対し迅速な現 場対応が困難となる可能性がある。・利用者からは、公園内でバーベキューや 花火が出来るかという問合せが多い。安全面の問題から不可と回答している が、実際には無許可で火気使用する客がいる様子である。

・委託業者から、公園内設備の破壊・汚損や部品盗難、不法ごみ投棄等がしば しば報告される。

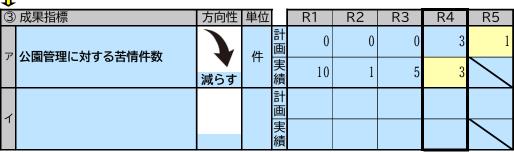
② 事務事業の日的と位置付け(何を日指しているのか)

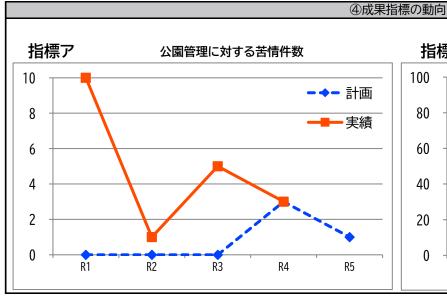
	9		口油しているのか)		
事業活動	提供する モノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
いいおかみなと公園 の日常的な維持管理 業務を行う。	利用者が、適正に維持管理されている公園及び飯岡漁港親水防波堤を利用する。	利用者が安全・快適に利用 できる。	公園の維持管 理	⇒公園の充実	ひとの定着・ 還流・移住の ⇒ 流れをつく り、人々が集 うまちづくり

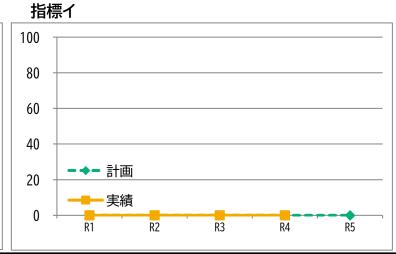
(2)活動と成果の状況 ① R4の主な活動や実績

遊具・トイレ等の設備の巡回点検、補修作業、草 刈 各種業務委託(トイレ清 掃、浄化槽保守点検、草刈、公園清掃、ごみ収 集、花壇の花植え)、親水防波堤の適正な維持管

→[2	活動指標	単位		R1	R2	R3	R4	R5
	占	トイレ清掃回数		画型	228	228	228	227	228
	,	「一ク月神四女		実績	228	230	226	227	
	1	公園ゴミ拾い清掃回数		計画	117	116	116	118	115
	1	公園コミカい河押凹数		実績	117	116	115	118	







(=	3)コストの状況					(当	单位:千円)	
	事務事業費		R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	② 従事職員数
	1. 需用費		832		904	981	1,190	
	2. 役務費		242		247	241	449	常時 2 人
	3. 委託料	N	2, 178		2,507	2,583	2,972	
目内	4. 使用料及び賃借料	<u></u>	223		211	209	206	
訳	5. 備品購入費		0	0	U			最大 <mark> 6 </mark> 人 × <mark> 5 </mark> 日 = 延べ 30 人
	合計		3,475	3,091	3,869	4,014	4,817	
	国·県支出		0	_	0	2, 0 2 2	2, 02.	
財源内訳	地方債		0	0	0			
加力	その他		0	-	0			
訳	一般財源		3,475		3,869	4,014	4,817	
	一般財源のと	<u> </u>	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
		(3 各費目の	羊細(R4決質	<u>I)</u>			⑤ R3→R4 増減理由
1.	需用費			燃料費、光		繕料		微増のみ
	役務費		浄化槽検査	至手数料・汲	取り手数料	、保険料		
	委託料			・イレ清掃、	公園清掃、	ごみ回収業	務委託料	
	使用料及び賃借料		芝刈機借」	:料				
5.	備品購入費							
		(A)特定財源の	詳細(R/1)	首)			
[国・県支出金	<u> </u>			开 /			
	地方債							
	その他							
	1/声双声类1-周士	フ=亚/ ≖					<u>-</u>	
	1)事務事業に関す _. 	る評価 判定				分析(好不調の要	因や対策について)
1)事務事業の進捗	概ね順	となってく。	の老朽化によ いる。(簡易6	り修繕が必 的な修繕はī	要な個所が含	全体的に増加	加している。基本的に修繕は、施設所有者である県が対応 についても利用者の安全・快適のため、県に要望してい
			判定)要因や対策について)
			23	トイレの修繕	善など改善し	た箇所が増え	えたため、苦	情は減っている。
2	の根果指標の推移	指標ア	好調維持					
	(R3→R4)		判定				分析(変動の)要因や対策について)
		指標イ						
		10:1-1						Nuch + Al & = H/m
		判定		方針	日と休ま	加圧できい		判定・方針の詳細
						例年とおり、 里、各種業務		等設備の巡回点検、補修作業、草刈、親水防波堤の適正な する。
(③ 今後の方向性 ①・②を踏まえた R5以降の方針)	継続実	施		1 m 1 d E 2	_, _,,		, - ·